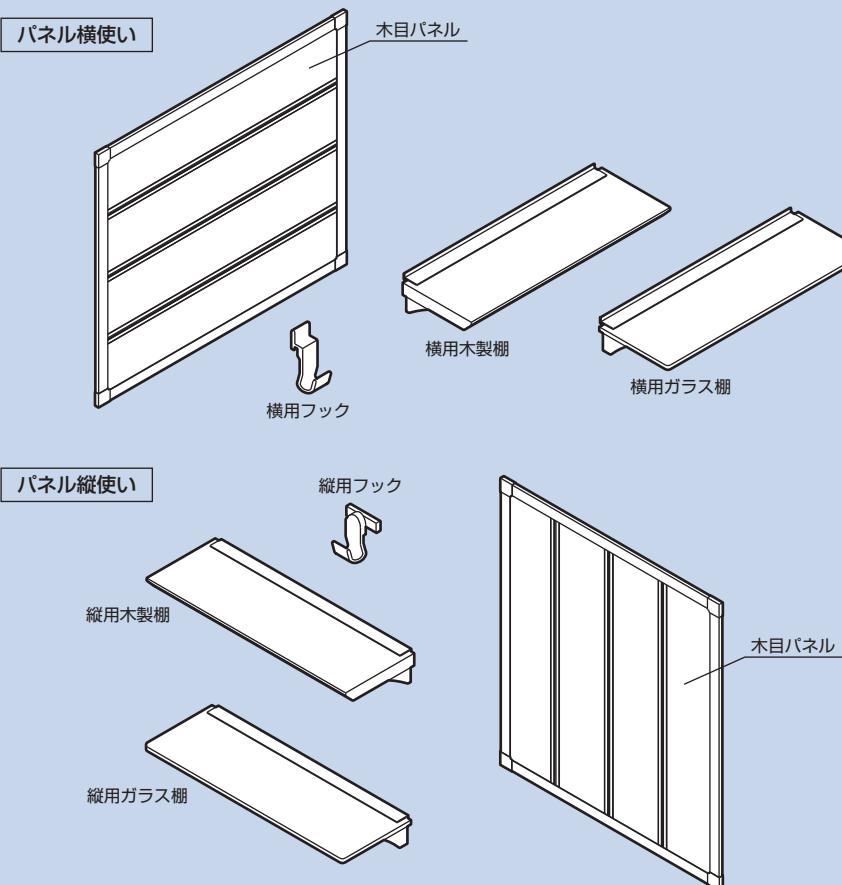


スタイルアート ハンギングタイプ



もくじ

1. 安全上のご注意	1
2. 梱包部品の確認	2
3. 施工方法	4
横使い時の納まり例	4
部材のカット寸法	5
横使い時の施工方法	6
縦使い時の納まり例	13
部材のカット寸法	14
縦使い時の施工方法	15
4. 使用上のご注意	22

施工説明書

施工業者様用

■この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

■施工開始前に必ずお読みください。

■施工者の安全と使用者の安全確保のために、この施工説明書をよくお読みになり、安全で正しい施工を行ってください。

■製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。

■この冊子は必ずお施主様にお渡しください。巻末が取扱説明書になっています。

危険の定義とシンボルマーク

本施工説明書では「警告」「注意」を右のような定義で使用しています。

	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
	注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

施工上のご注意

- !**荷重は全て壁で支えます。必ず合板12mm厚以上の下地を準備してください。**
- !**ハンギングレール、見切・目地用ベースの壁への固定は、正しい位置に指定本数の壁固定ネジで確実に行ってください。**
- !**ハンギング金具はハンギングレールに確実に固定してください。**
(固定が不完全な場合、棚板の脱落等によりケガをする可能性があります。)
- !**棚板に腰掛けたり、登ったり、体重をかけないでください。**
(落下・破損などを起こし、重傷を負う可能性があり、大変危険です。)
- !**一般住宅用として設計しています。屋外では使用しないでください。**
- !**一般木造住宅の内装用です。RC造への施工は避けてください。**
- !**水のかかる場所、湿気の多い場所への施工は避けてください。**
- !**直射日光の当たる場所への施工はなるべく避けてください。製品の変色の原因となります。**
- !**製品の改造はしないでください。製品強度が失われる可能性があります。**
- !**ハンギングレールの取付け、またハンギング金具・棚板の取付けなどは、本文を参照し、正しく確実に行ってください。**
取付けが確実でないと、金具の破損や、棚板の脱落の原因になります。
- !**製品取付けの前に下地がフラットになっていることを確認してください。段差や反りがありますと取付けが困難になります。**

製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

規制対象外 (F☆☆☆☆☆)

構成部位	ホルムアルデヒド発散建築材料		発散区分
木目パネル	化粧紙貼りMDF	(一社)日本建材・住宅設備産業協会	規制対象外 (F☆☆☆☆☆)
木製棚	塗装集成材	国土交通大臣認定	規制対象外 (F☆☆☆☆☆)

規制対象外部位・告示対象外

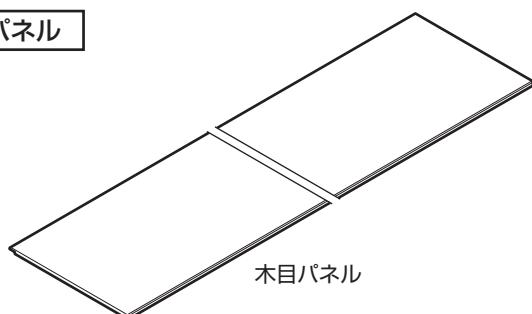
ハンギングレール	告示対象外
見切/目地	告示対象外
コーナーカバー	告示対象外
縁見切	規制対象外部位：規制対象外 (F☆☆☆☆☆) 同等品質材料を使用
木製棚	告示対象外
ガラス棚	棚板
	棚板受け材
フック	告示対象外

2. 梱包部品の確認

組み立て前に部品数を確認してください。

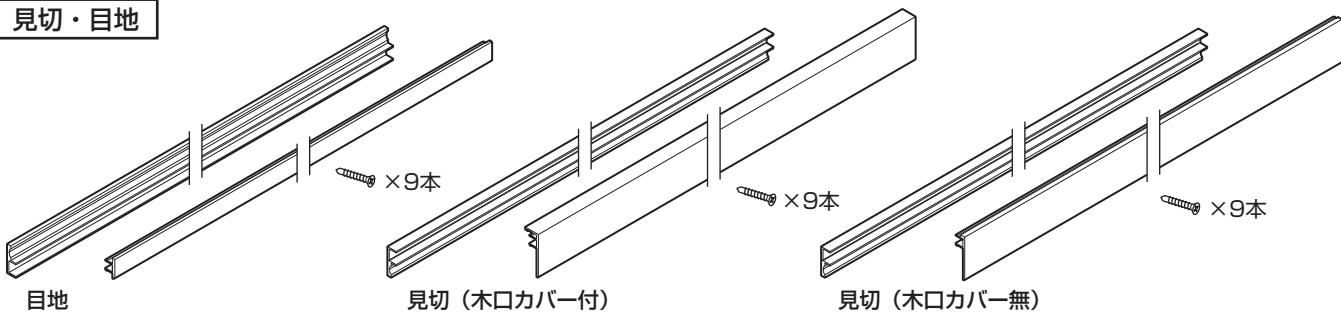
部材名	梱包名	入 数	同梱部品
パネル	木目パネル293	2	—
	木目パネル445	2	—
納め部材	目地	1	見切・目地用ベース:1、4×25ドリルビス:9
	見切(木口カバー付)	1	見切・目地用ベース:1、4×25ドリルビス:9
	見切(木口カバー無)	1	見切・目地用ベース:1、4×25ドリルビス:9
	コーナーカバー A	左右各1	コーナーベース:2、3.5×20トラスタッピングビス:2
	コーナーカバー B	左右各1	コーナーベース:2、3.5×20トラスタッピングビス:2
	コーナーカバー C	左右各1	コーナーベース:2、3.5×20トラスタッピングビス:2
	コーナーカバー D	左右各1	コーナーベース:2、3.5×20トラスタッピングビス:2
	縁見切	1	上下木口シール:2
ハンギング部材	ハンギングレール	1	4×40ドリルビス:12
	横用フック	5	—
	横用木製棚435	1	脱落防止部材:2、3.5×40皿タッピングビス:3
	横用木製棚587	1	脱落防止部材:2、3.5×40皿タッピングビス:4
	横用ガラス棚435	1	脱落防止部材:2、5×40バインドビス:3(取付済)
	横用ガラス棚587	1	脱落防止部材:2、5×40バインドビス:4(取付済)
	縦用フック	5	—
	縦用木製棚435	1	脱落防止部材:2、縦用ブラケット:2、3.5×40皿タッピングビス:3
	縦用木製棚587	1	脱落防止部材:2、縦用ブラケット:2、3.5×40皿タッピングビス:4
	縦用ガラス棚435	1	脱落防止部材:2、縦用ブラケット:2、5×40バインドビス:3(取付済)
	縦用ガラス棚587	1	脱落防止部材:2、縦用ブラケット:2、5×40バインドビス:4(取付済)

パネル

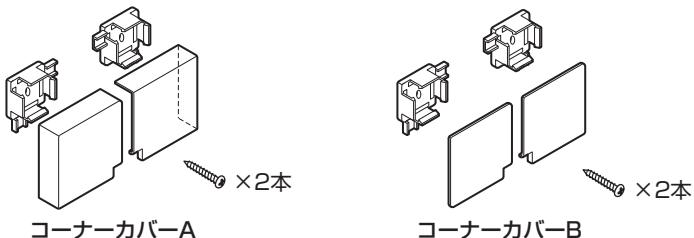


2. 梱包部品の確認 (P2のつづき)

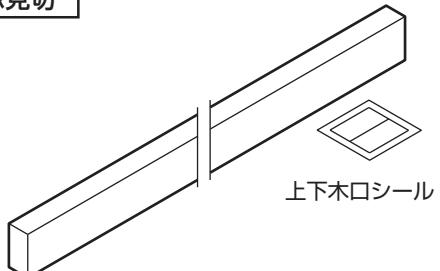
見切・目地



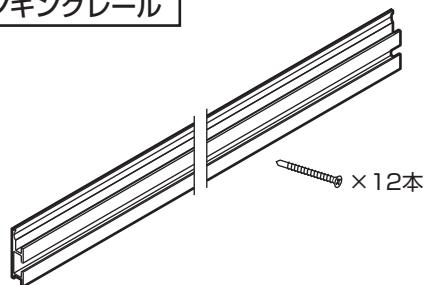
コーナーカバー



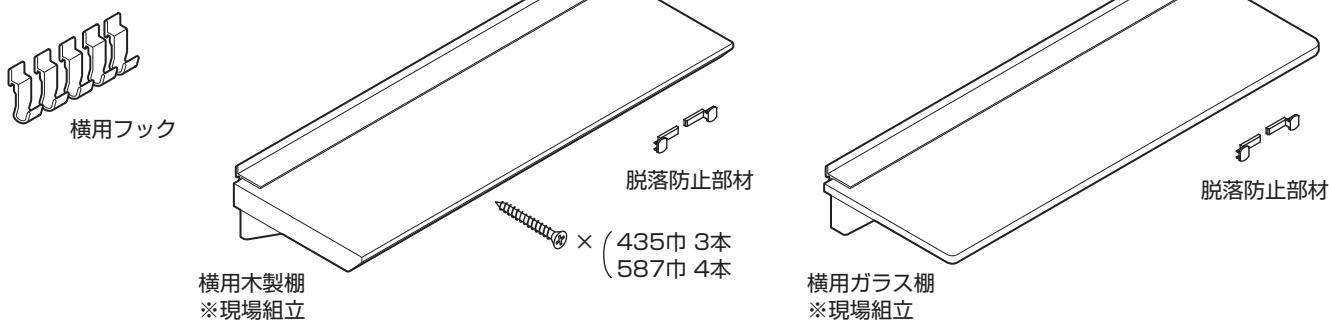
縁見切



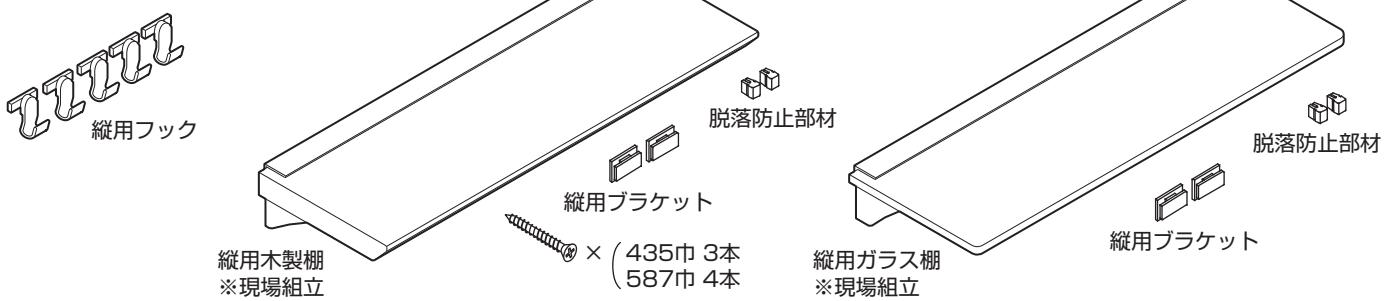
ハンギングレール



横用ハンギング部材



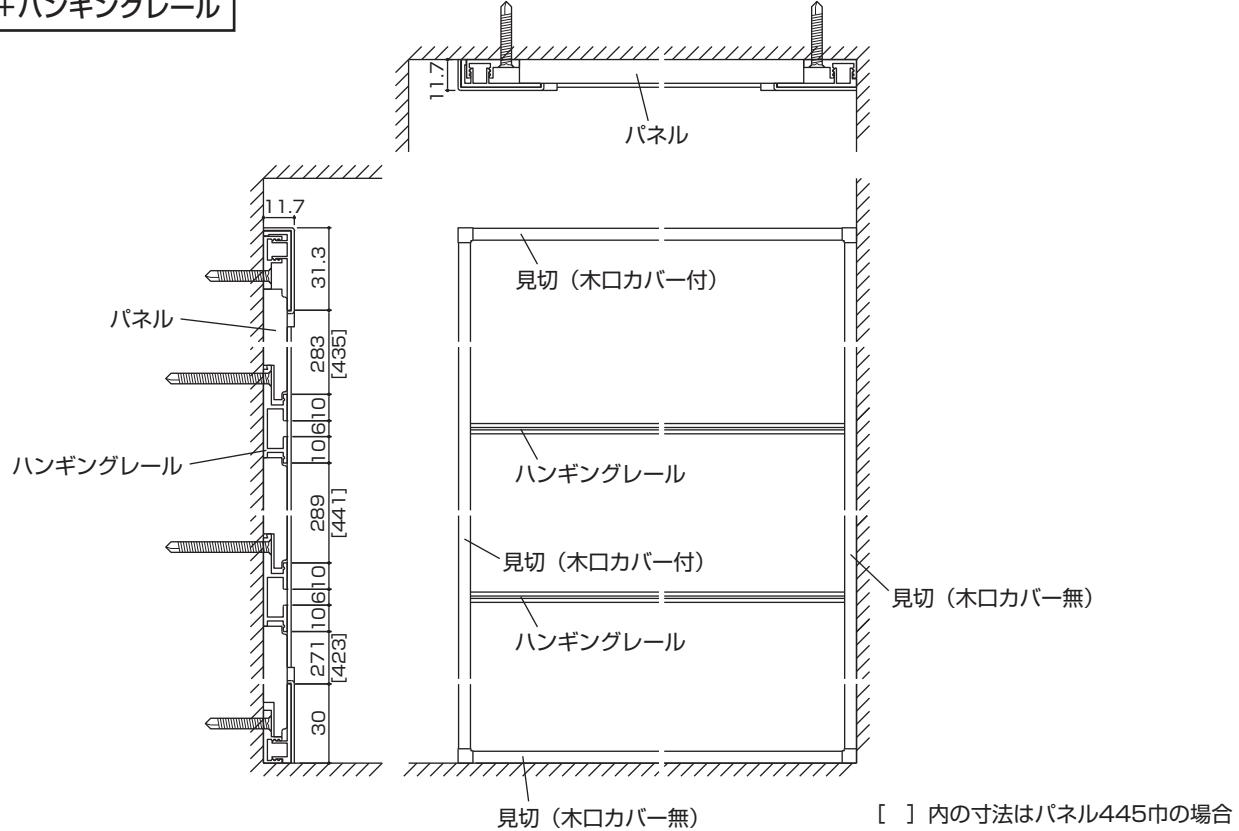
縦用ハンギング部材



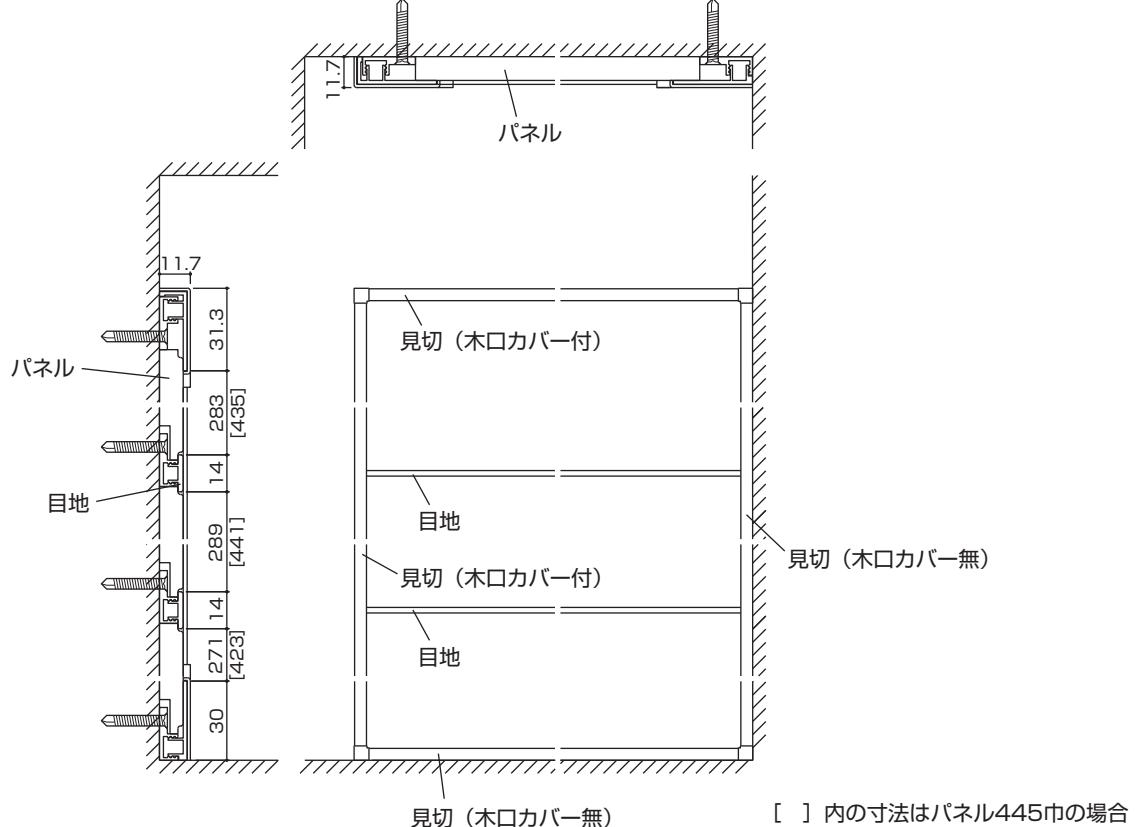
3. 施工方法

横使い時の納まり例

パネル横使い
パネル+ハンギングレール



パネル横使い
パネル+目地



3. 施工方法 (P4のつづき)

部材のカット寸法

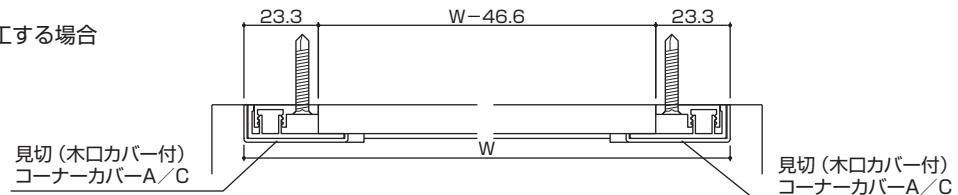
パネル、ハンギングレール、見切・目地用ベースは下記のように、必要な巾・高さに対して見切とコーナーカバーの寸法を差し引いてカットしてください。

(見切カバー・目地のカット寸法は、P10を参照してください。)

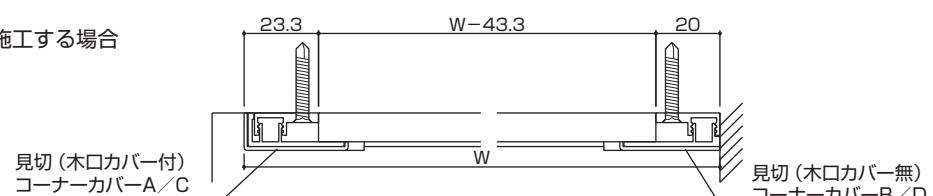
パネル横使い

巾方向 対象部材：パネル、ハンギングレール、見切・目地用ベース（上下）

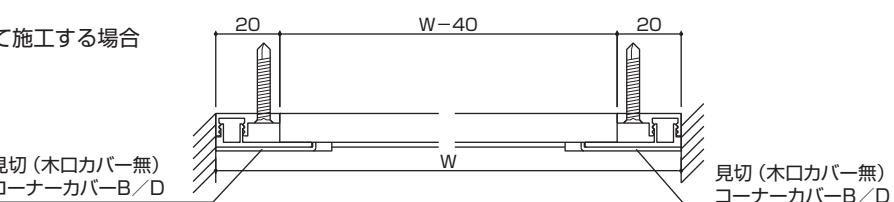
左右を壁から離して施工する場合
W-46.6mm



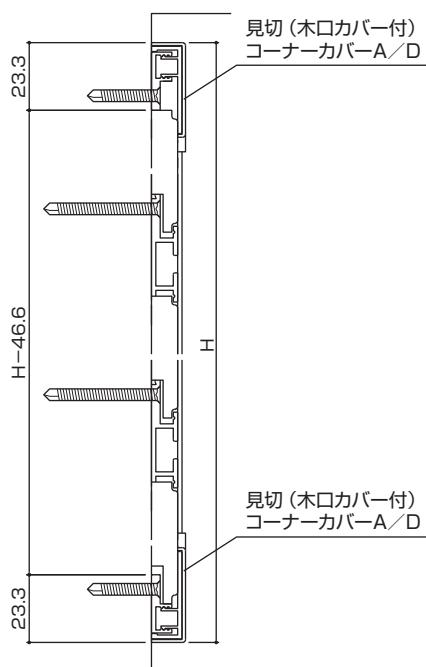
片側のみ壁に接触して施工する場合
W-43.3mm



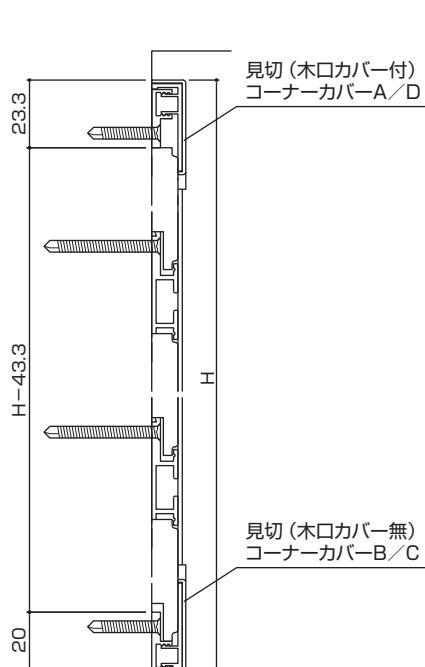
左右ともに壁に接触して施工する場合
W-40mm



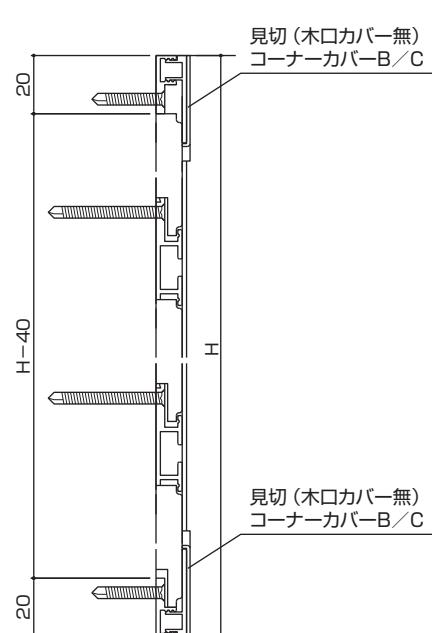
高さ方向 対象部材：見切・目地用ベース（左右）



上下を天井（床）から離して施工する場合
H-46.6mm



片側のみ天井（床）に接触して施工する場合
H-43.3mm

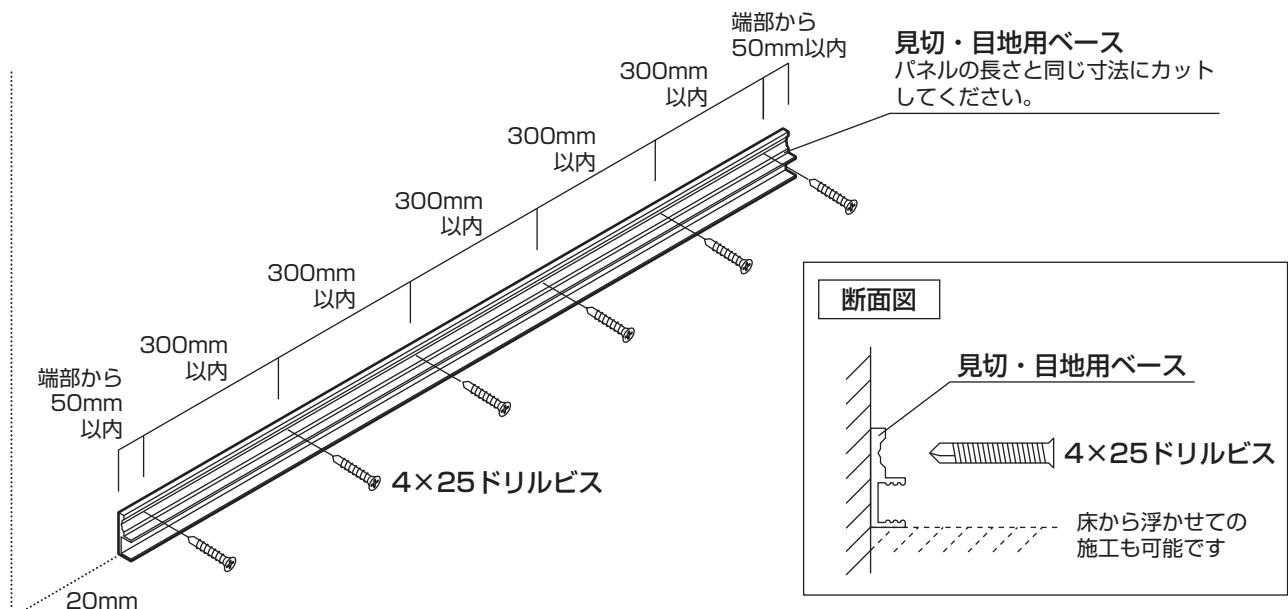


上下を天井・床に接触して施工する場合
H-40mm

横使い時の施工方法

パネルの施工

1. 下側の見切・目地用ベースを施工します。必ず指定の間隔以内でビス固定してください。
床から浮かせての施工も可能です。必ず水平を確認して施工してください。

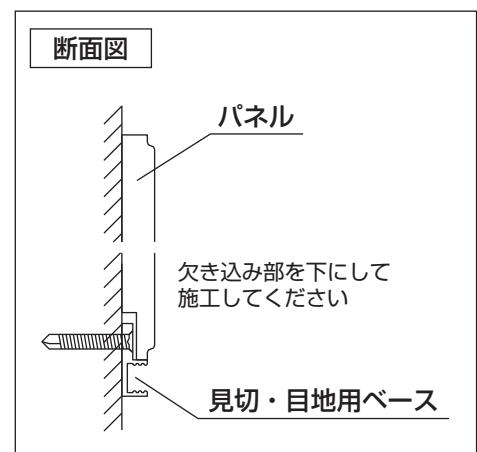
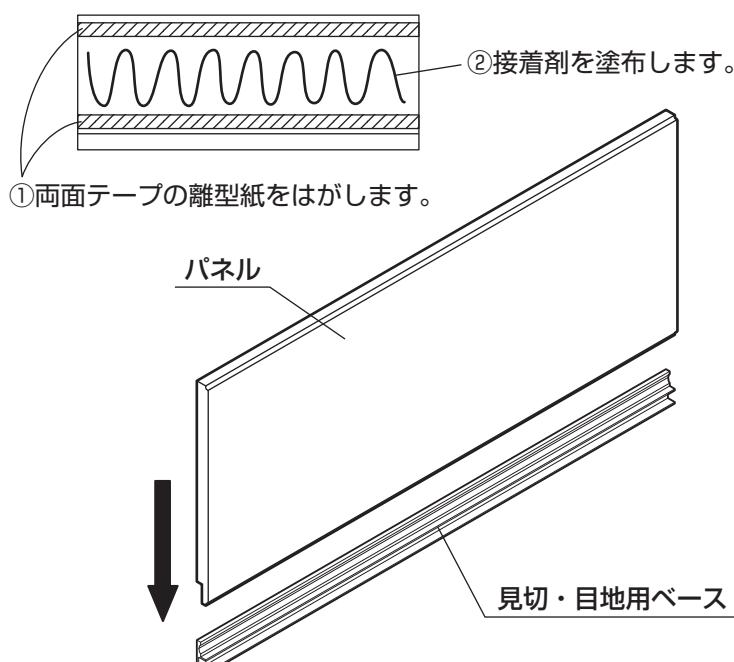


壁面に接触して施工する場合は、壁面から
20mmのスペースを空けてください。
後に施工するコーナーベース用のスペースとなります。

2. パネルを施工します。
必ず变成シリコーン系「スピーデル工法用接着剤」をお使いください。



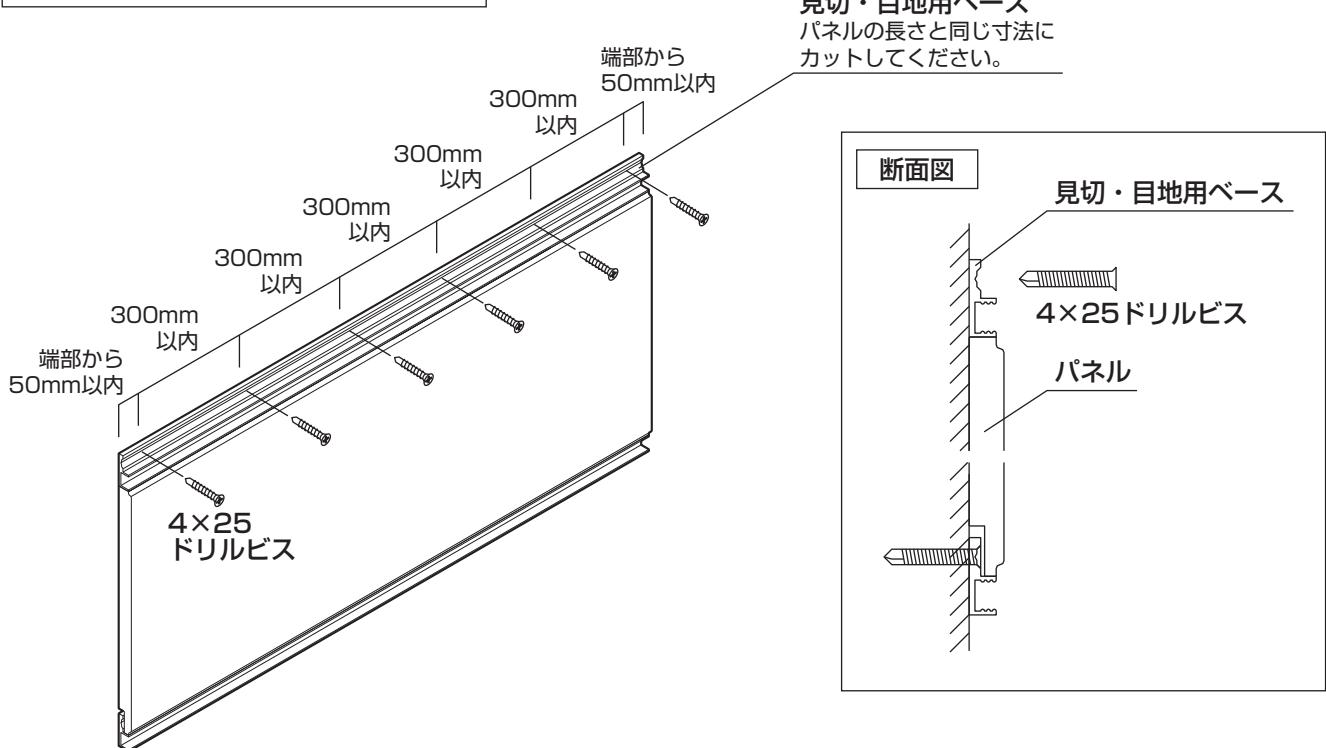
パネル裏面には仮固定用両面テープが貼付されていますが、必ずボンドで本固定してください。
両面テープのみで固定するとパネルが脱落する恐れがあります。



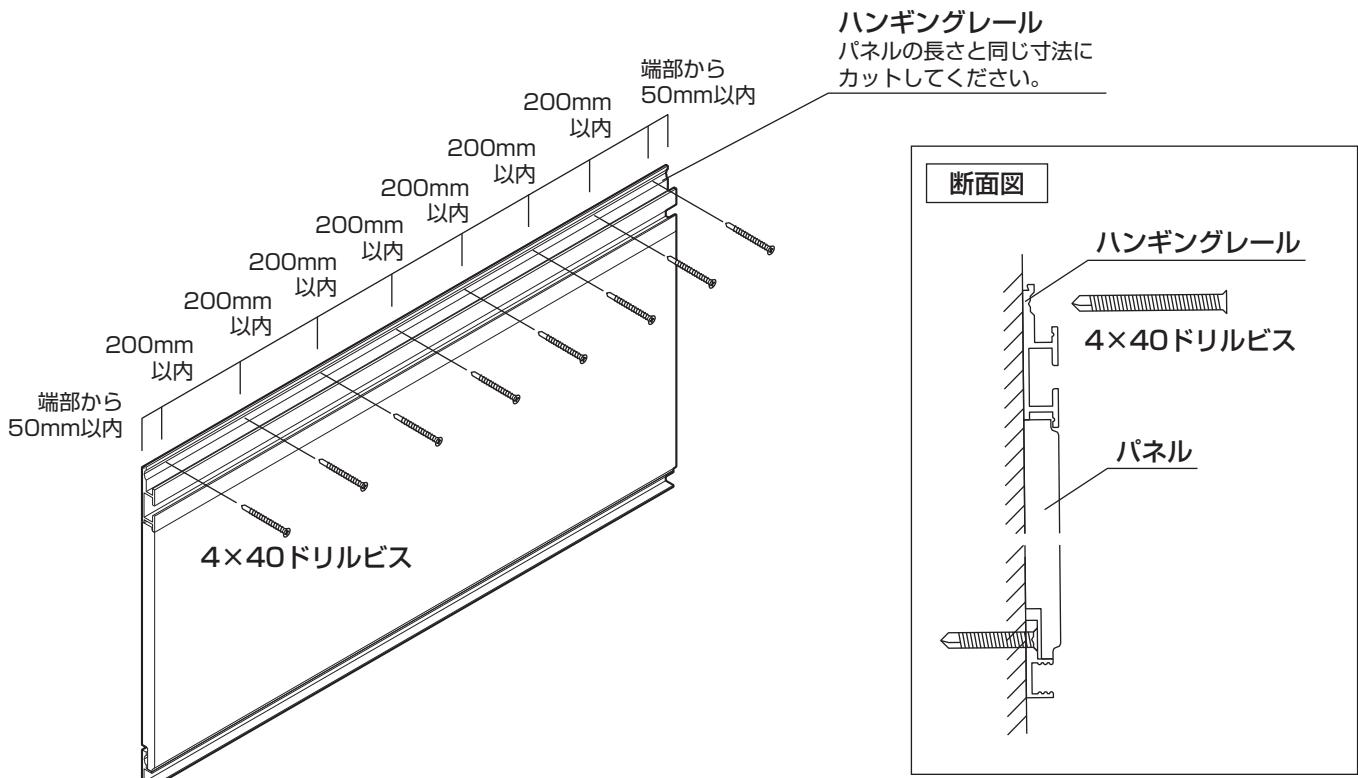
3. 施工方法 (P6のつづき)

3. 見切・目地用ベースもしくはハンギングレールを施工します。
必ず、指定の間隔以内でビス固定してください。

パネルとパネルの間を目地で納める場合

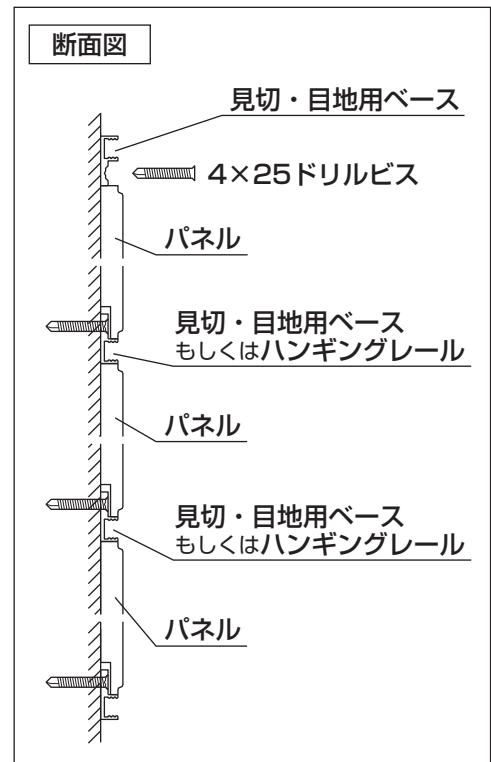
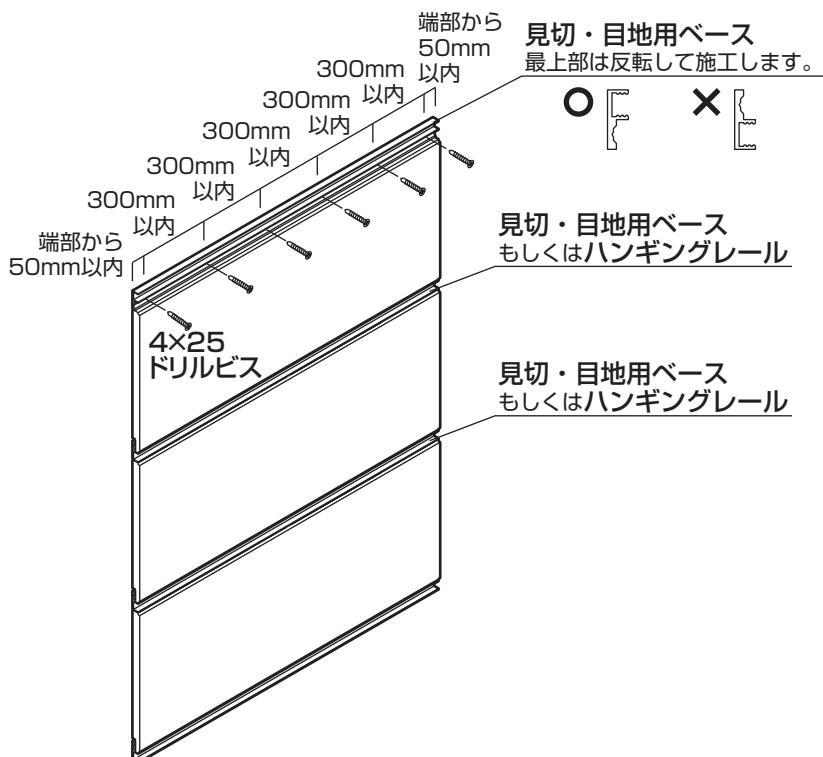


パネルとパネルの間をハンギングレールで納める場合

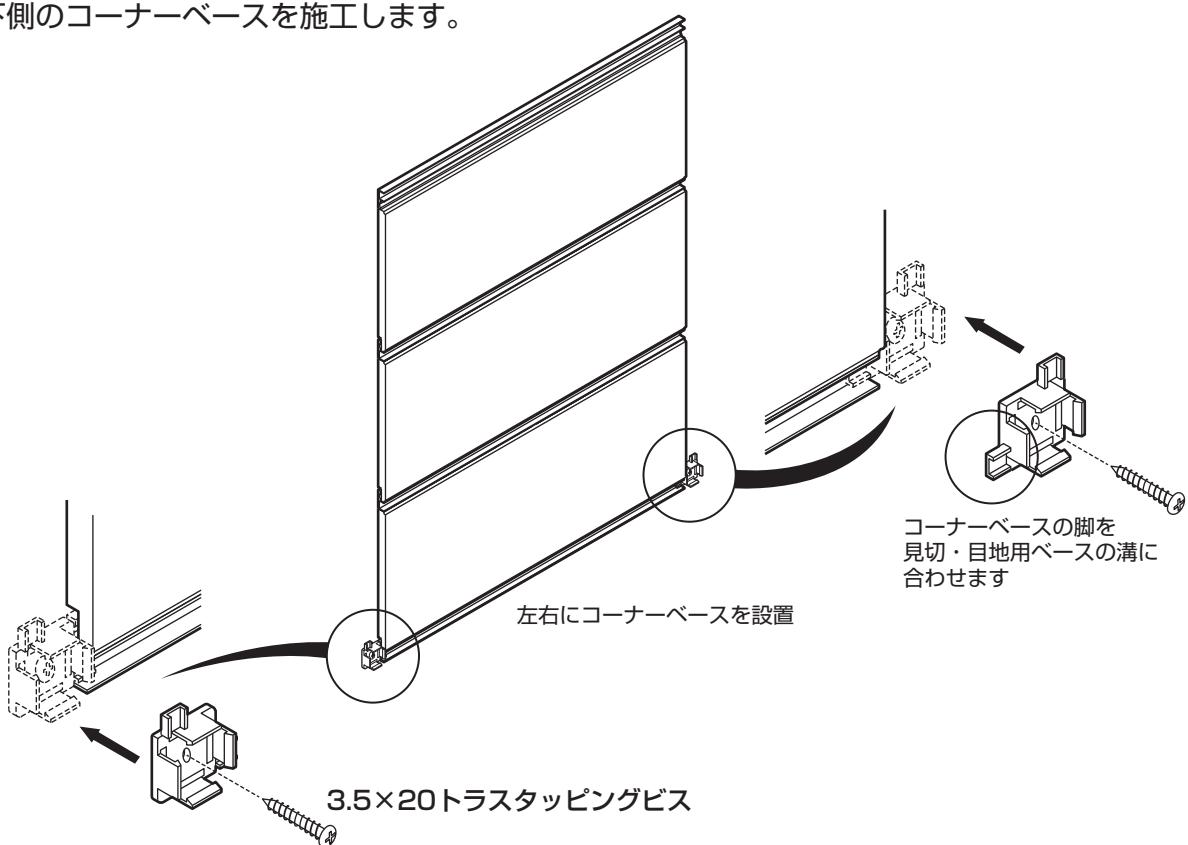


必要高さまで **2** と **3** を繰り返します。

4. 最上部の見切・目地用ベースを施工します。



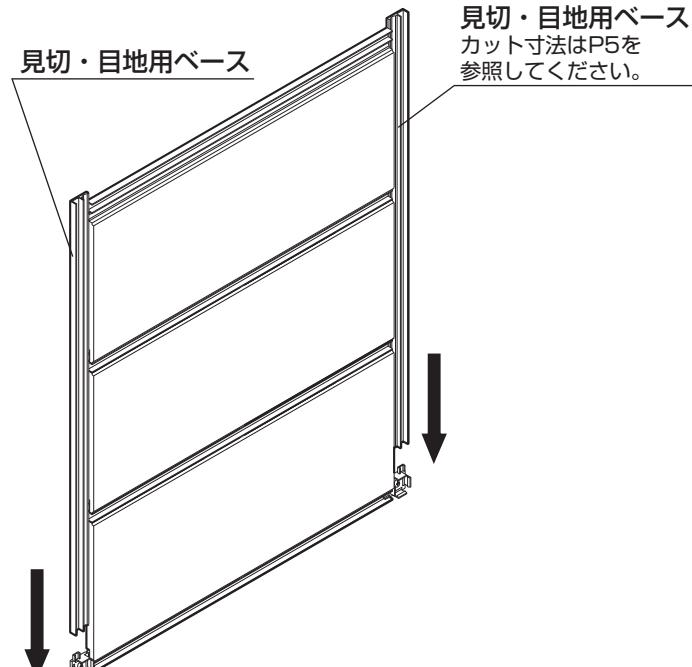
5. 下側のコーナーベースを施工します。



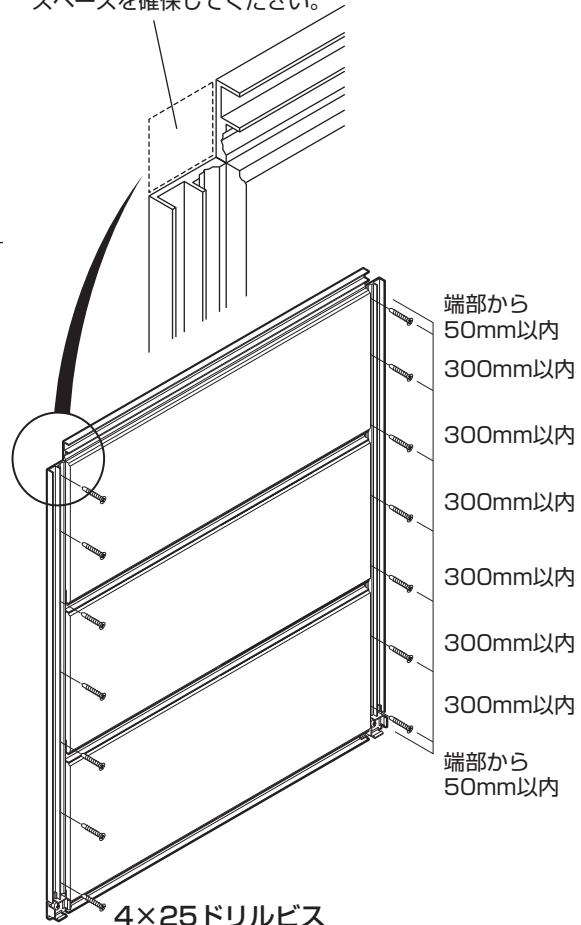
3. 施工方法 (P8のつづき)

6. 左右の見切・目地用ベースを施工します。
必ず垂直を確認して施工してください。

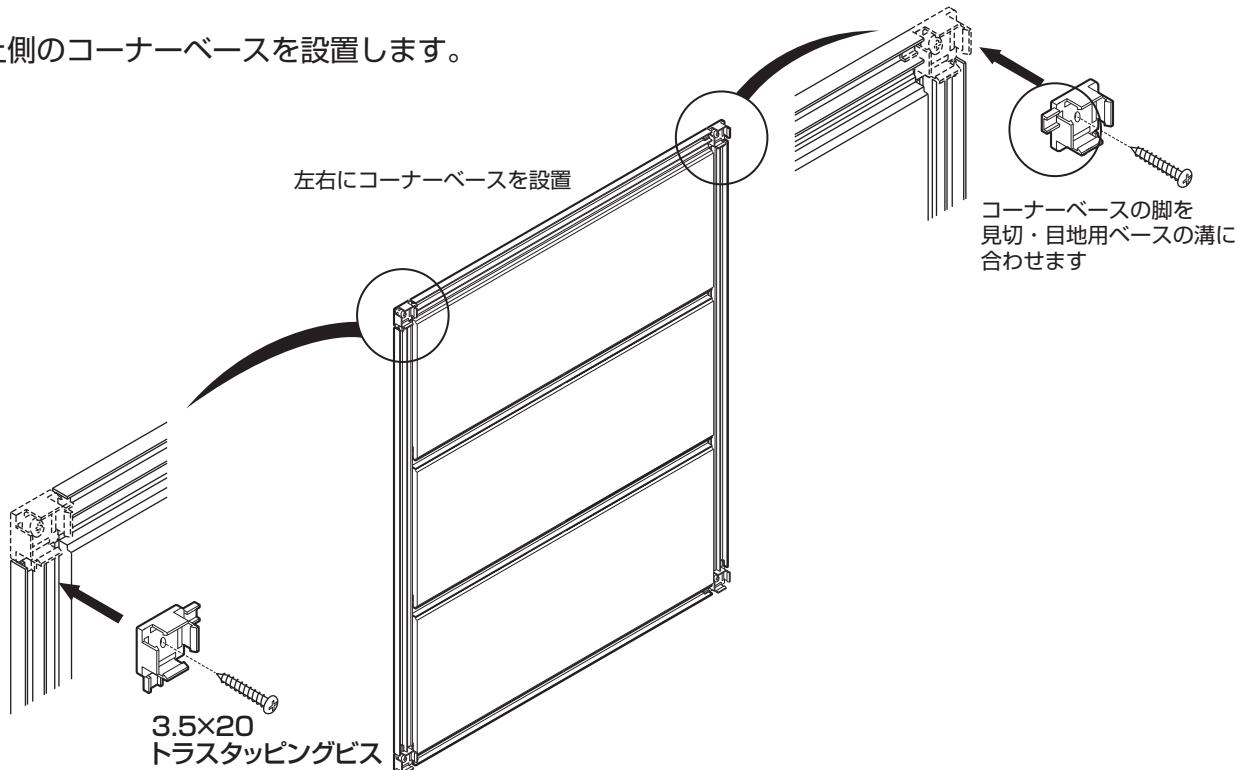
コーナーベースの脚に見切・目地用ベースの溝を合わせて差し込みます。



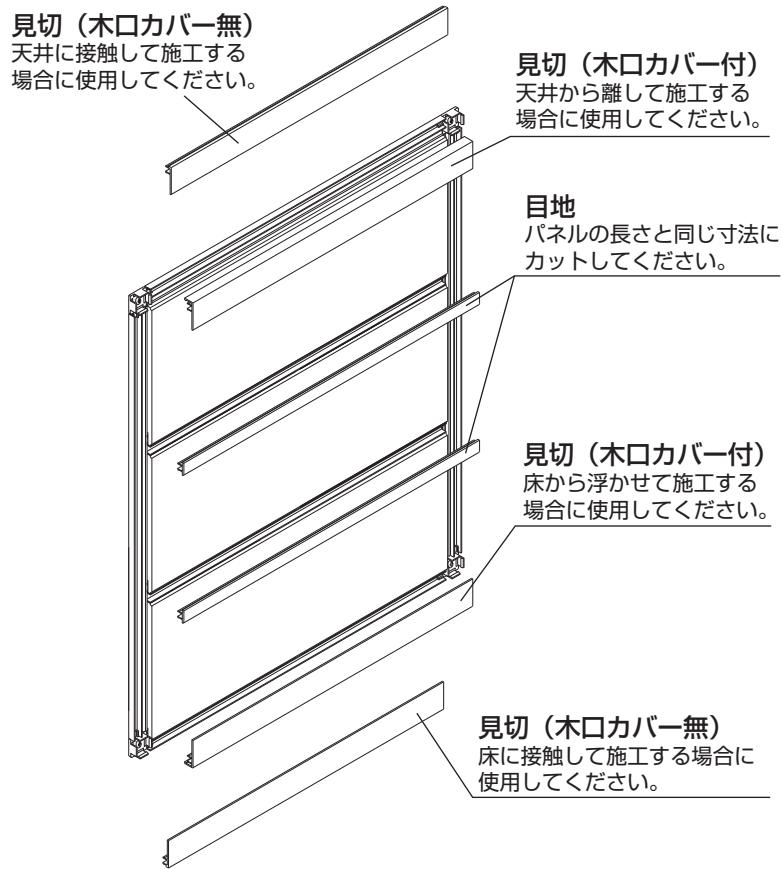
左右とも20mm×20mmの
スペースを確保してください。



7. 上側のコーナーベースを設置します。

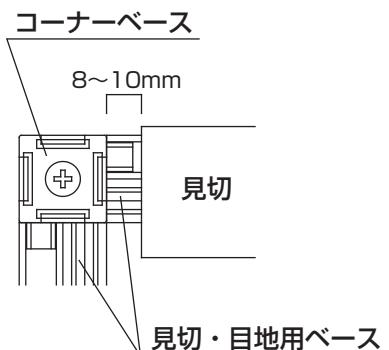


- 8.** 上下見切、目地（パネルの間を目地で納める場合）を設置します。
※天井（床）との接触有無により使用する見切を選択してください。

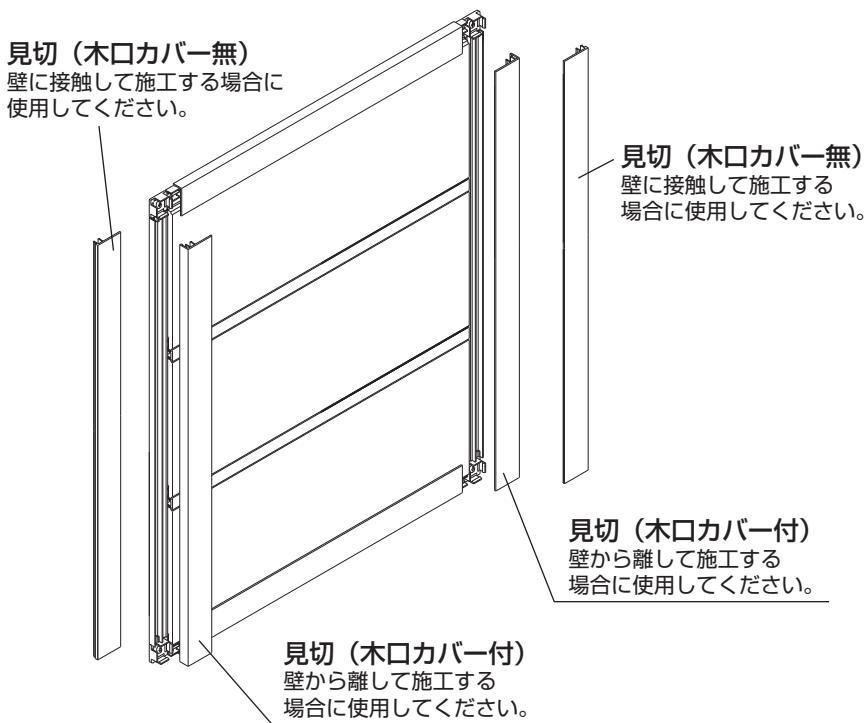


施工のポイント

上下見切は左右ともにコーナーベースから8~10mm離れるようにカットしてください。

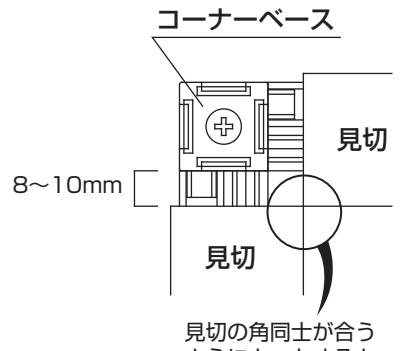


- 9.** 左右の見切を設置します。
※壁との接触有無により使用する見切を選択してください。



施工のポイント

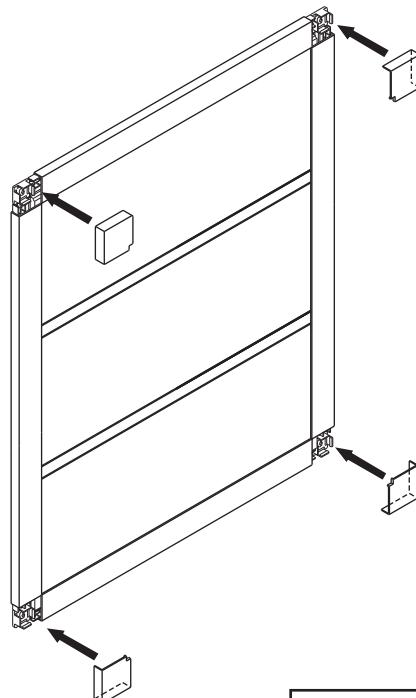
左右見切は上下ともにコーナーベースから8~10mm離れるようにカットしてください。



3. 施工方法 (P10のつづき)

10. コーナーカバーを設置します。

※コーナーカバーは壁パネルの設置位置により使い分けてください。

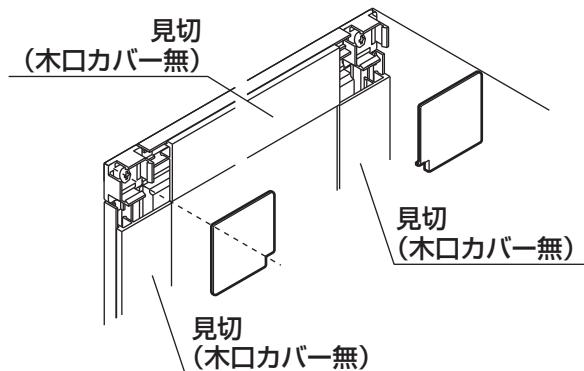
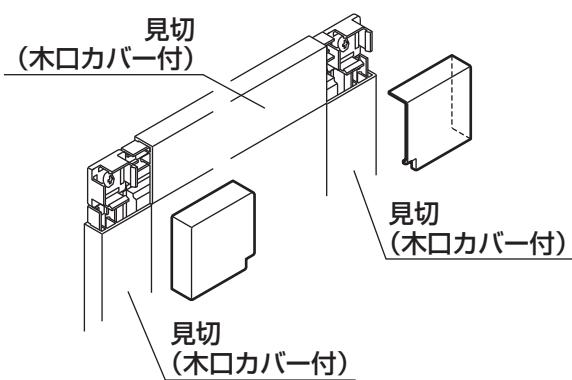


コーナーカバーA

天井（床）からも壁からも離して施工する場合

コーナーカバーB

天井（床）にも壁にも接觸して施工する場合

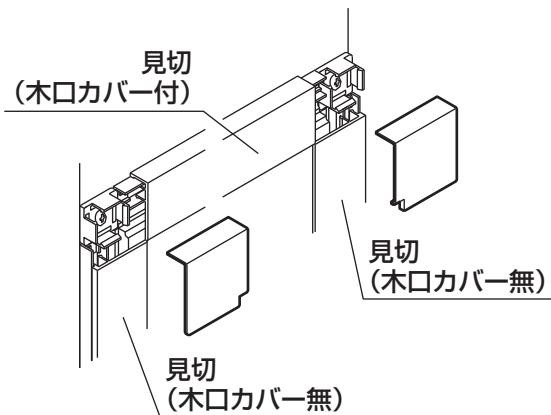
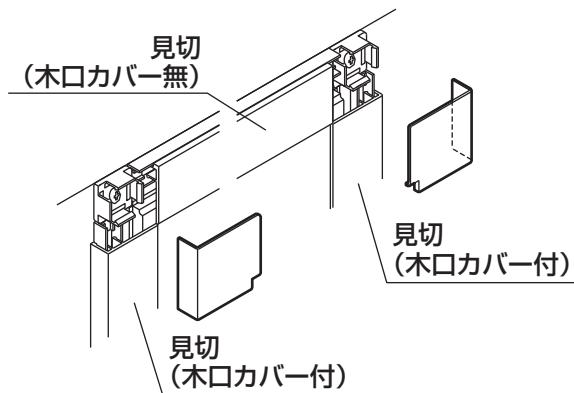


コーナーカバーC

天井（床）に接觸し、壁から離して施工する場合

コーナーカバーD

天井（床）から離し、壁に接觸して施工する場合



※下側はコーナーカバーを反転させて設置してください。

ハンギング部材の組み立て

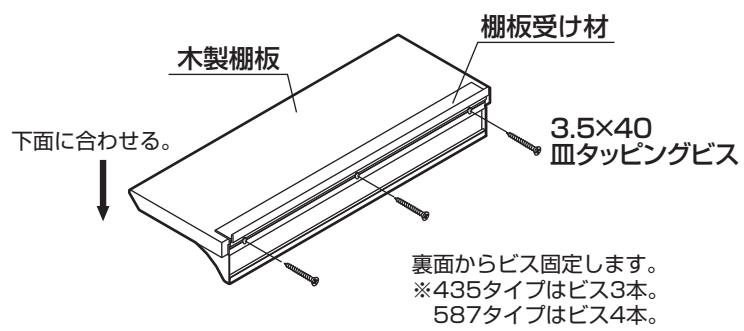
1. 棚を組み立てます。

木製棚の組み立て

同梱のビスで棚板を固定します。
棚板は棚板受け材より20mm長いので、棚板を両側に10mm余らせた状態で固定してください。

⚠ 注意

棚板には必ずリード穴を空けてください。

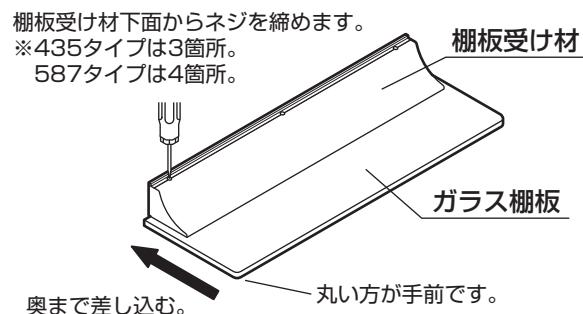


ガラス棚の組み立て

ガラス棚板を棚板受け材の奥まで差込み、ネジを締めて固定します。
棚板は棚板受け材より20mm長いので、棚板を両側に10mm余らせた状態で固定してください。

⚠ 警告

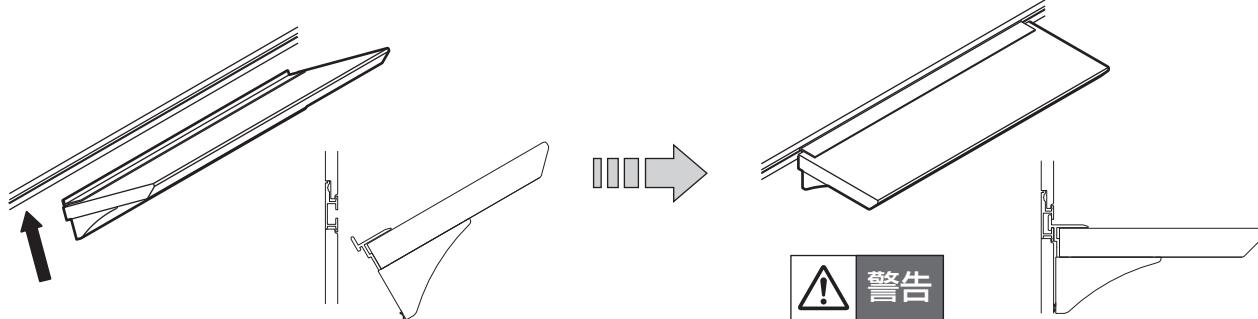
- ガラスはしっかりと棚板受け材の奥まで差し込まれ、ネジも全て締められていることを確認してください。
- 電動ドリルを使わないでください。ガラスが破損する恐れがあります。



2. 棚、フックを取り付けます。

棚の取り付け

棚を斜めにして、棚板受け材の出っぱり部分をレールの溝に差し込んでください。

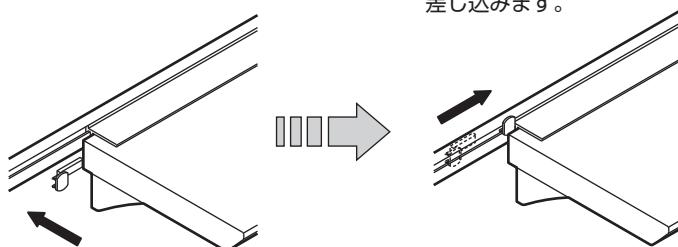


脱落防止部材の取り付け

※左右に取り付けてください。

前面からめ込みます。

棚受け材とレールの隙間に差し込みます。

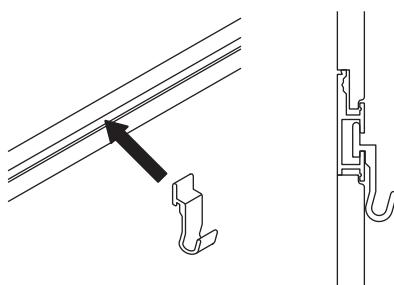


⚠ 警告

棚はしっかりとレールに設置されていることを確認してください。設置が確実でないと棚が脱落し、ケガや破損の原因となります。

フックの取り付け

出っぱり部分をレールの溝に差し込んで引っ掛けてください。



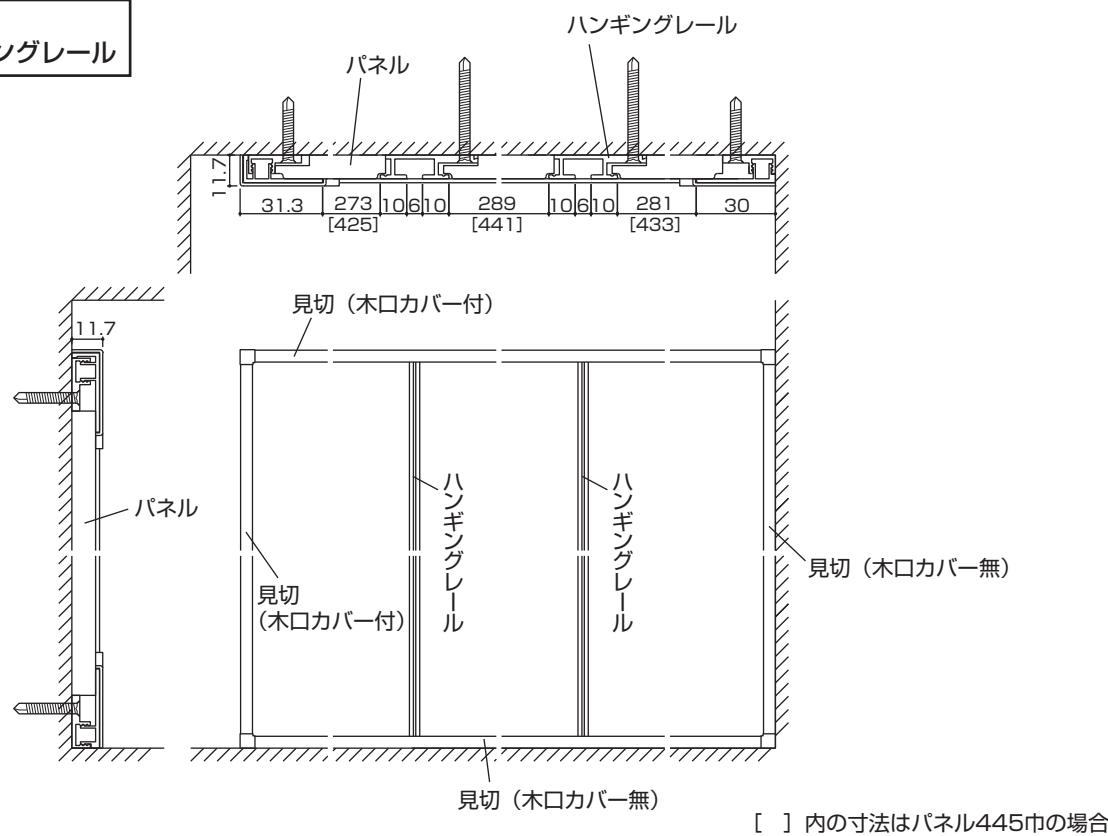
⚠ 注意

脱落防止部材は必ず取り付けてください。
取り付けないと棚が脱落し、ケガをする恐れがあります。

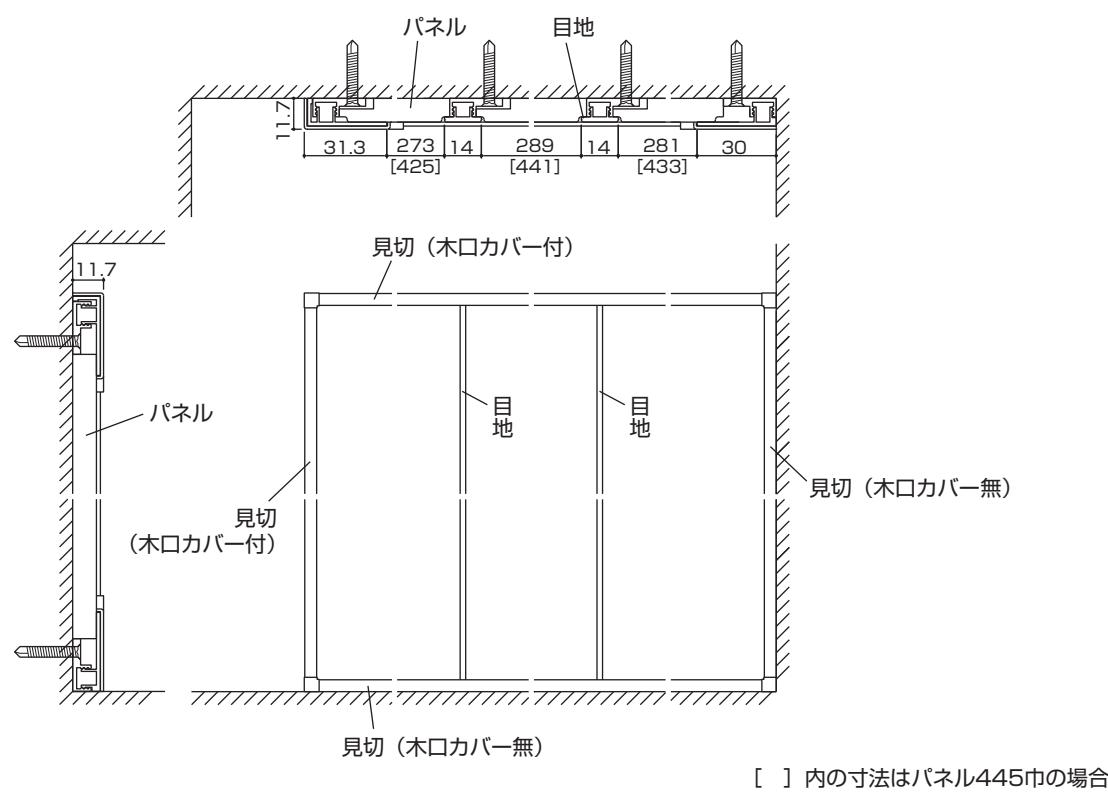
3. 施工方法 (P12のつづき)

縦使い時の納まり例

パネル縦使い
パネル+ハンギングレール



パネル縦使い
パネル+目地



部材のカット寸法

パネル、ハンギングレール、見切・目地用ベースは下記のように、必要な巾・高さに対して見切とコーナーカバーの寸法を差し引いてカットしてください。

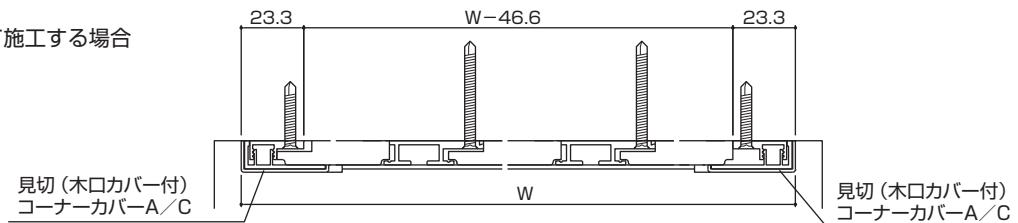
(見切カバー・目地のカット寸法はP19を参照してください。)

パネル縦使い

巾方向 対象部材：見切・目地用ベース（上下）

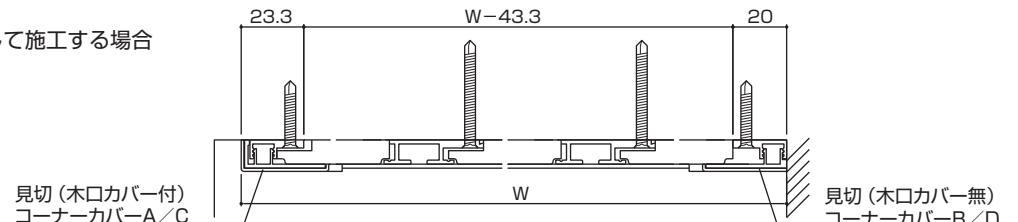
左右を壁から離して施工する場合

W-46.6mm



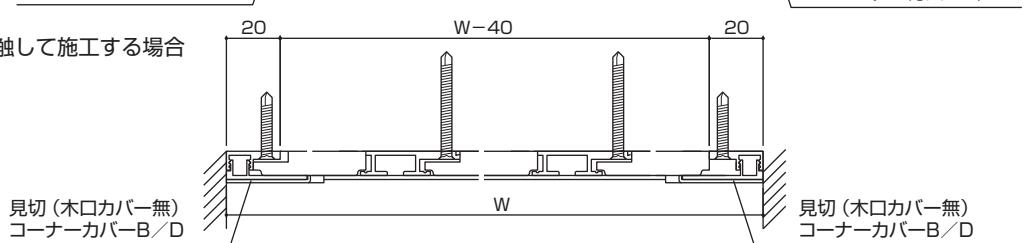
片側のみ壁に接触して施工する場合

W-43.3mm

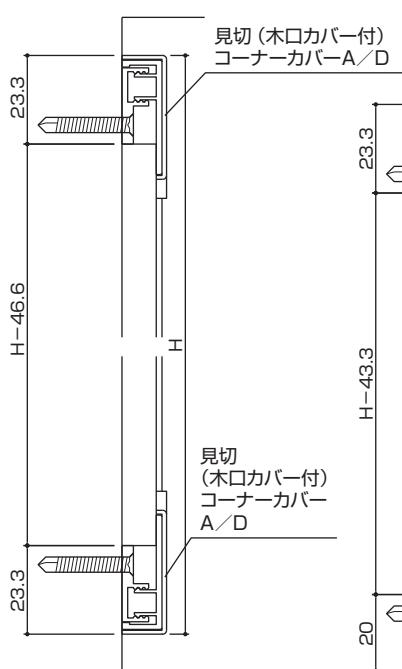


左右ともに壁に接触して施工する場合

W-40mm

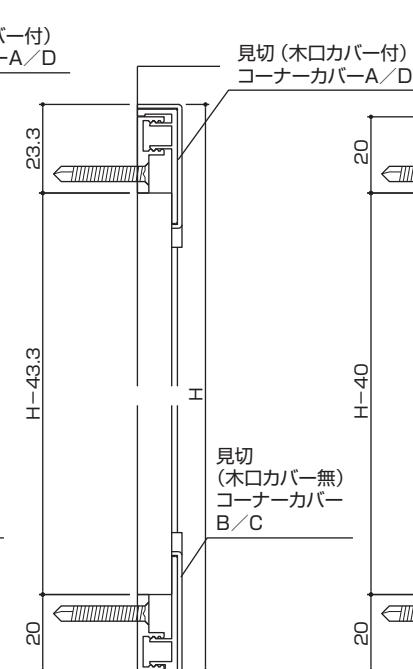


高さ方向 対象部材：パネル・ハンギングレール・見切・目地用ベース（左右）



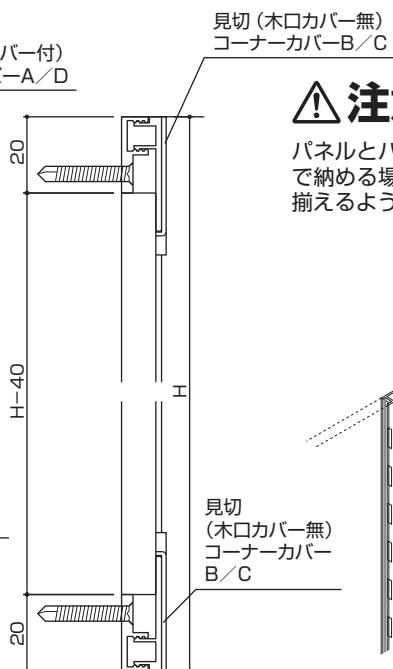
上下を天井（床）から離して施工する場合

H-46.6mm



片側のみ天井（床）に接触して施工する場合

H-43.3mm

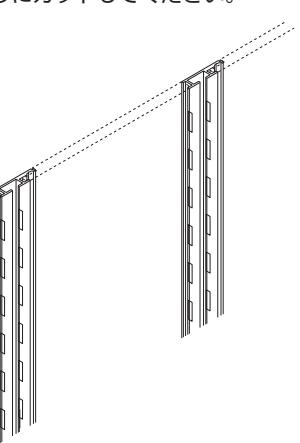


上下を天井・床に接触して施工する場合

H-40mm

△注意

パネルとパネルの間をハンギングレールで納める場合は必ず縦用穴加工の高さを揃えるようにカットしてください。



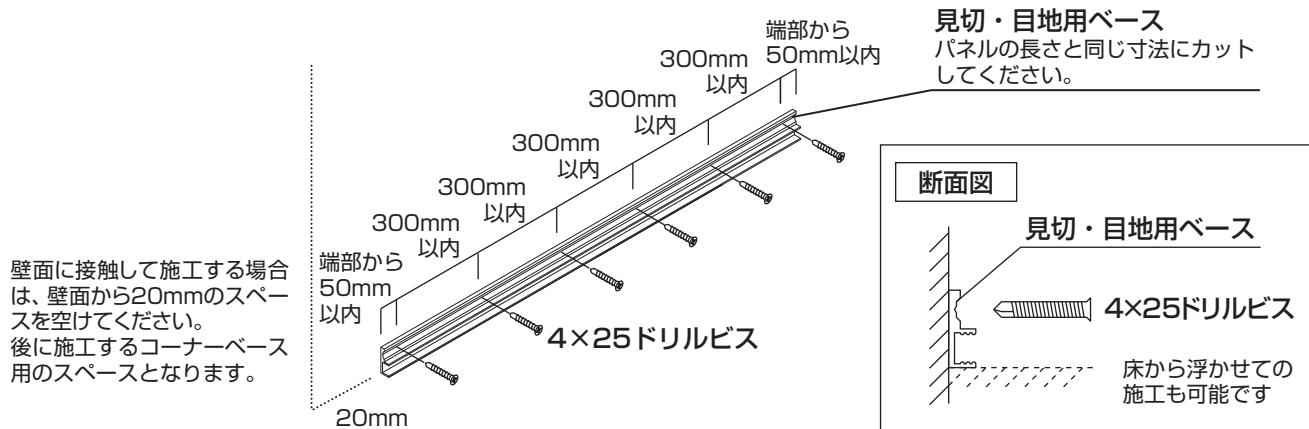
高さが揃っていないと
棚を正しく設置できません。

3. 施工方法 (P14のつづき)

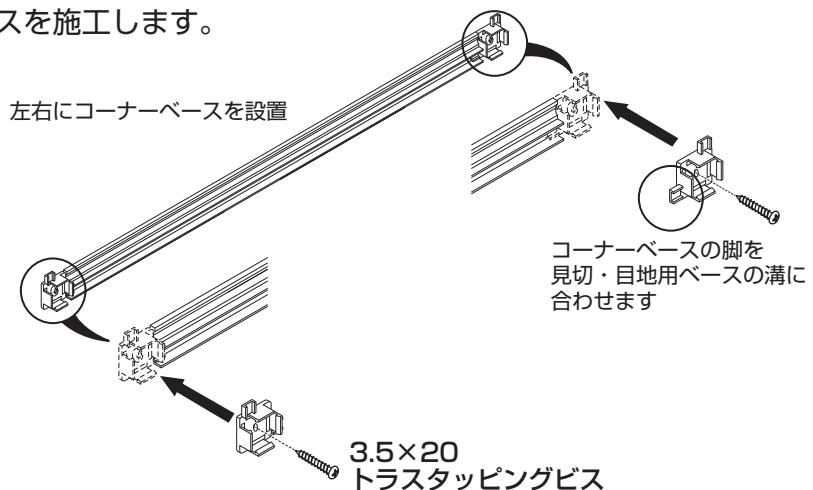
縦使い時の施工方法

パネルの施工

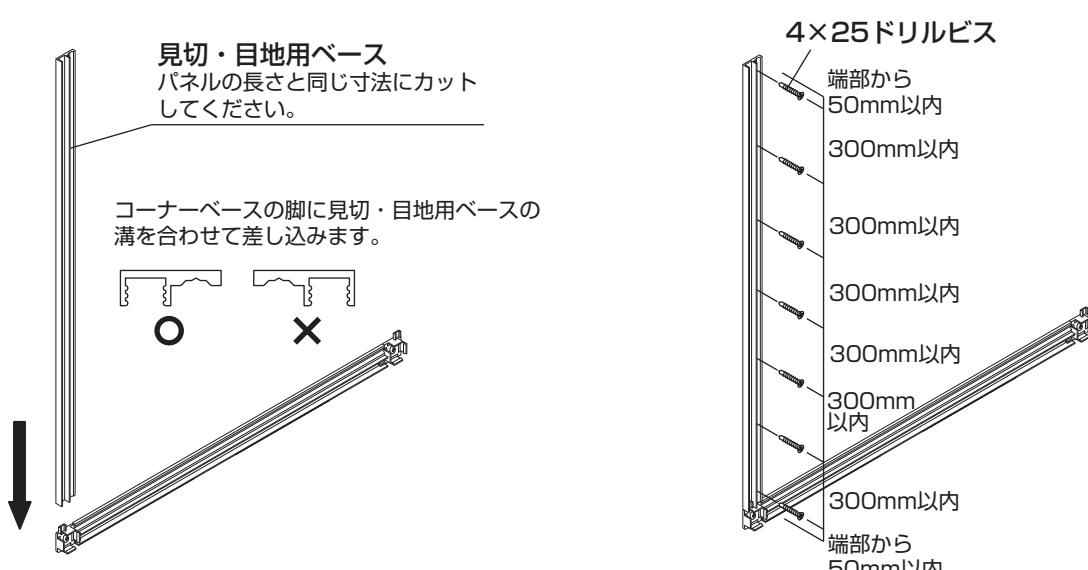
1. 下側の見切・目地用ベースを施工します。必ず指定の間隔内でビス固定してください。
床から浮かせての施工も可能です。必ず水平を確認して施工してください。



2. 下側のコーナーベースを施工します。



3. 左側の見切・目地用ベースを施工します。
必ず垂直を確認して施工してください。



4. パネルを施工します。

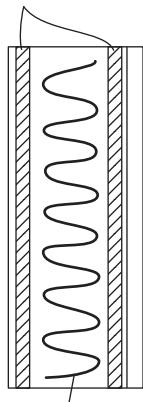
必ず变成シリコーン系「スピーデル工法用接着剤」をお使いください。



警告

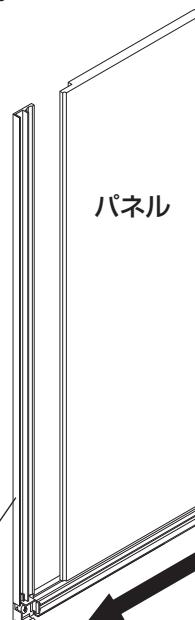
パネル裏面には仮固定用両面テープが貼付されていますが、必ずボンドで本固定してください。両面テープのみで固定するとパネルが脱落する恐れがあります。

①両面テープの離型紙をはがします。

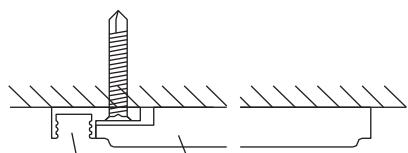


②接着剤を塗布します。

見切・目地用ベース



断面図



パネル
欠き込み部を左にして
施工してください

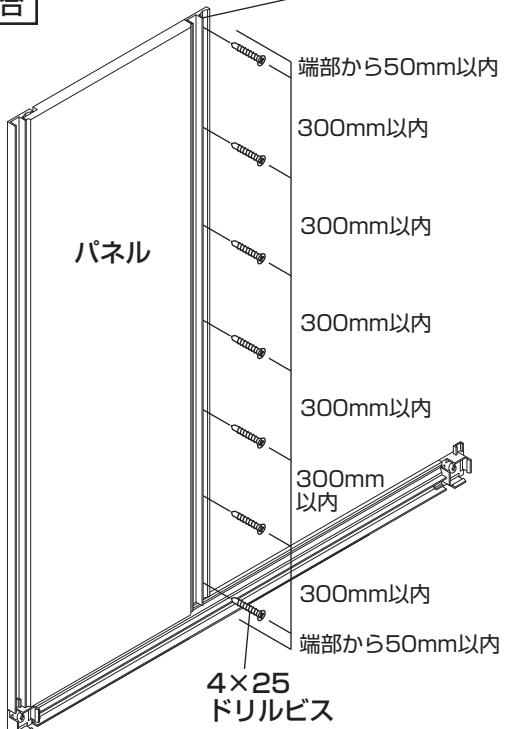
見切・目地用ベース

5. 見切・目地用ベースもしくはハンギングレールを施工します。

必ず、指定の間隔内でビス固定してください。

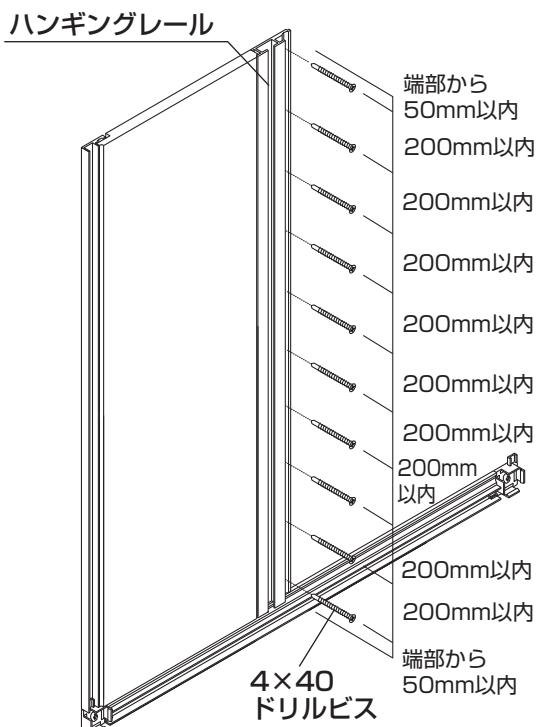
パネルとパネルの間を目地で納める場合

見切・目地用ベース



3. 施工方法 (P16のつづき)

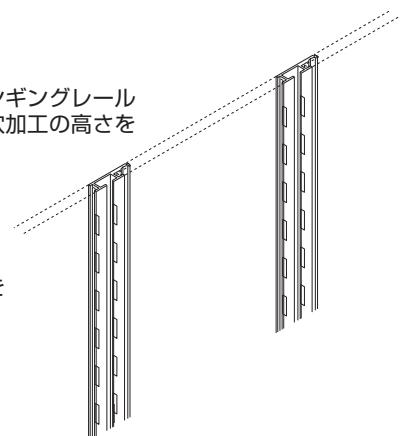
パネルとパネルの間をハンギングレールで納める場合



! 注意

パネルとパネルの間をハンギングレールで納める場合は必ず縦用穴加工の高さを揃えて設置してください。

高さが揃っていないと棚を
正しく設置できません。

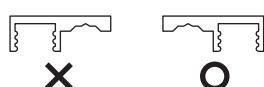
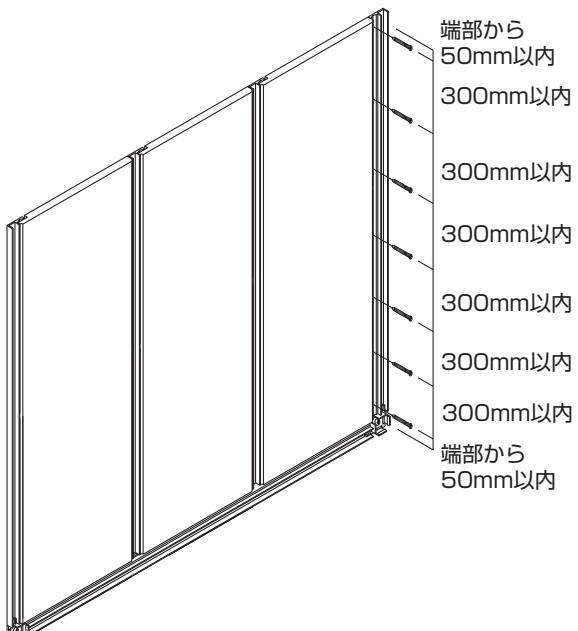
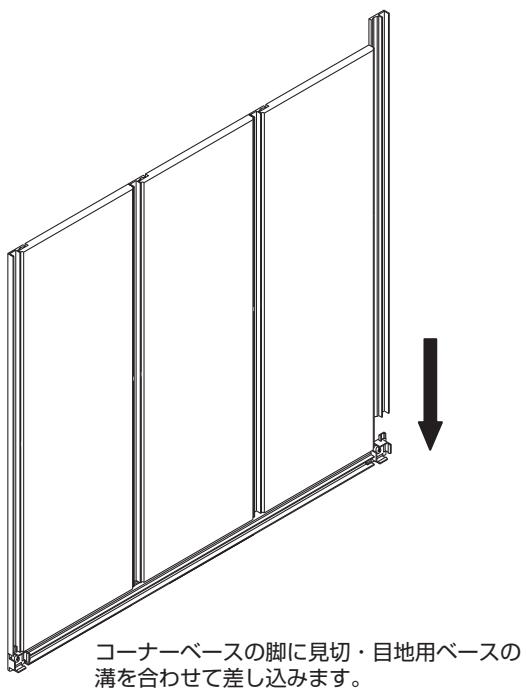


施工のポイント

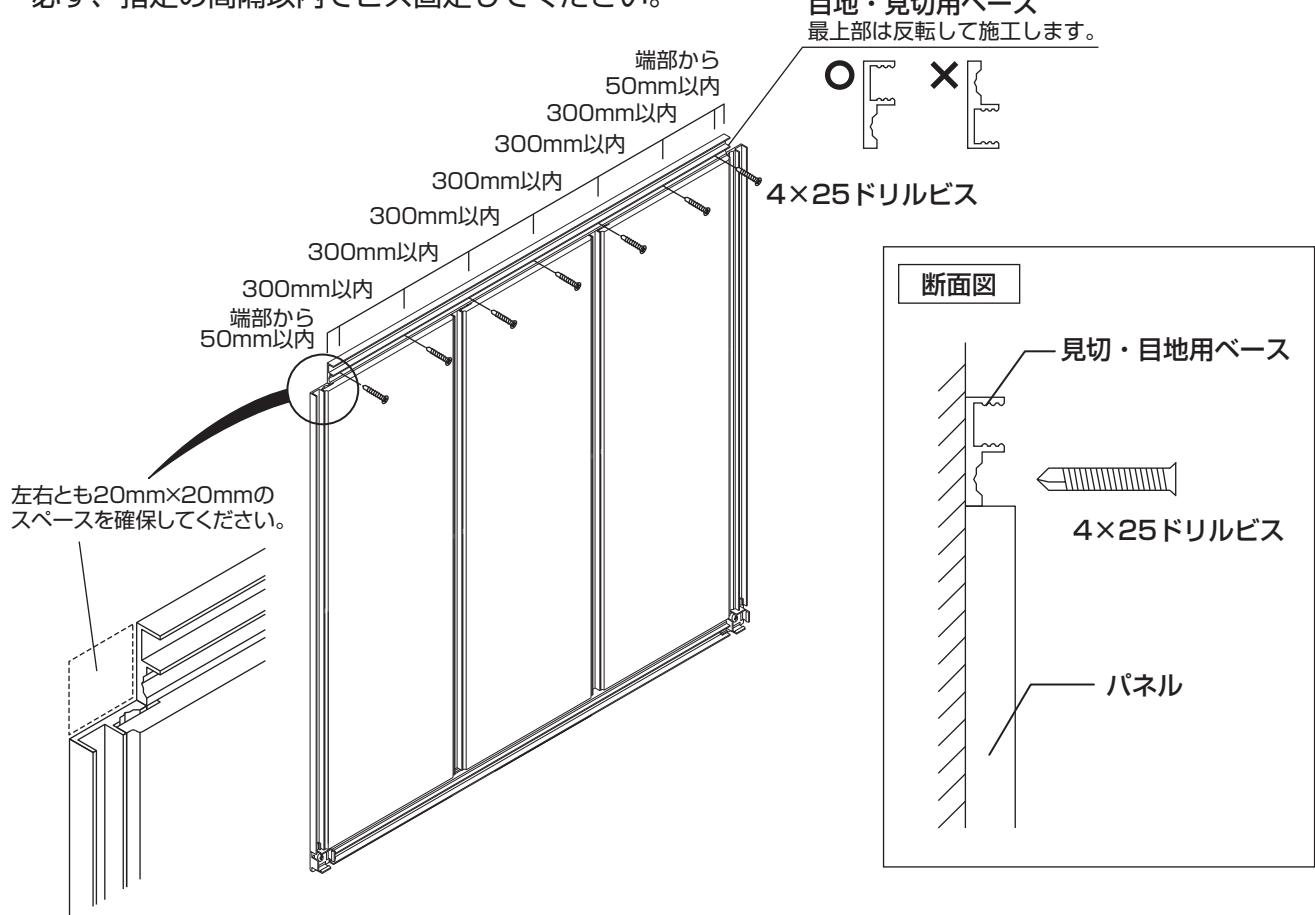
The diagram illustrates a hanging rail system. It features two horizontal rail tracks. The left track is labeled "ハンギングレール" (Hanging Rail) and the right track is labeled "パネル" (Panel). The panels are suspended from the rail by vertical lines, with small diamond symbols at the points of suspension. The entire system is supported by a central vertical post.

必要な幅まで **4** と **5** を繰り返します。

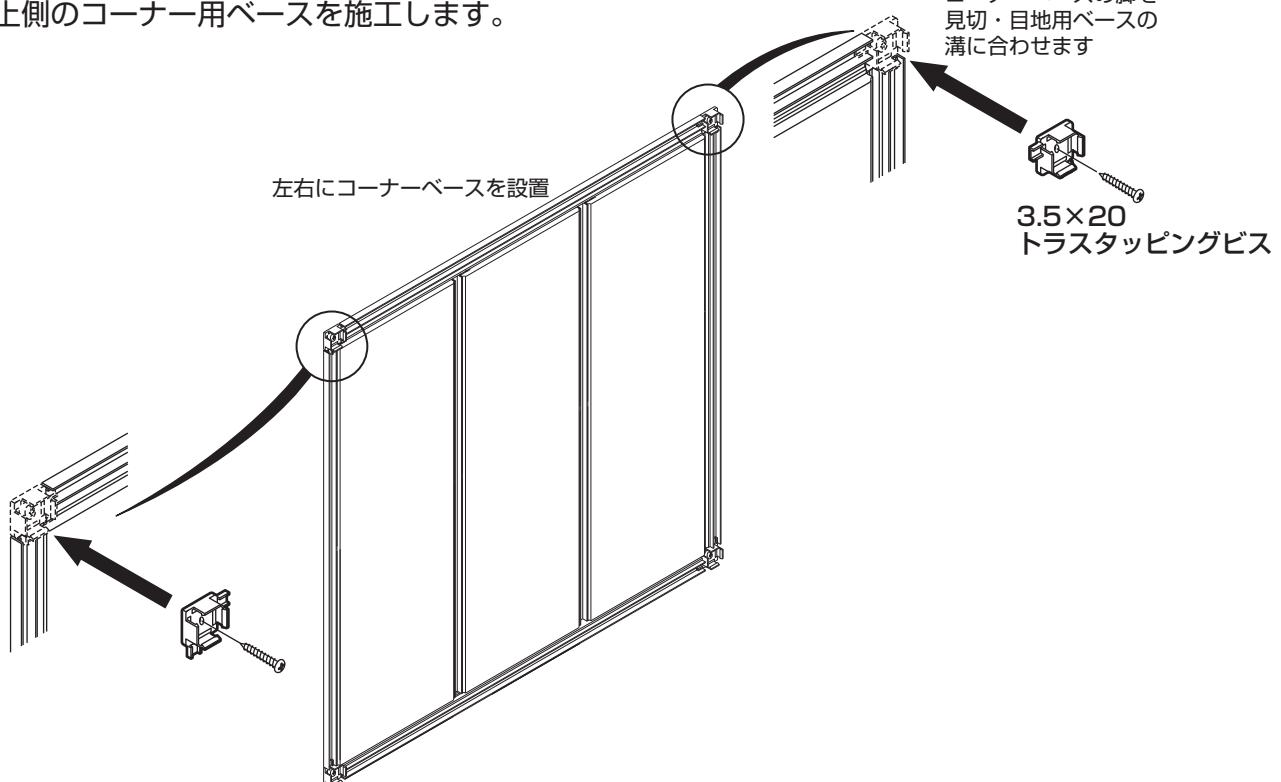
6. 右側の見切・目地用ベースを施工します。



7. 上側の見切・目地用ベースを施工します。
必ず、指定の間隔以内でビス固定してください。

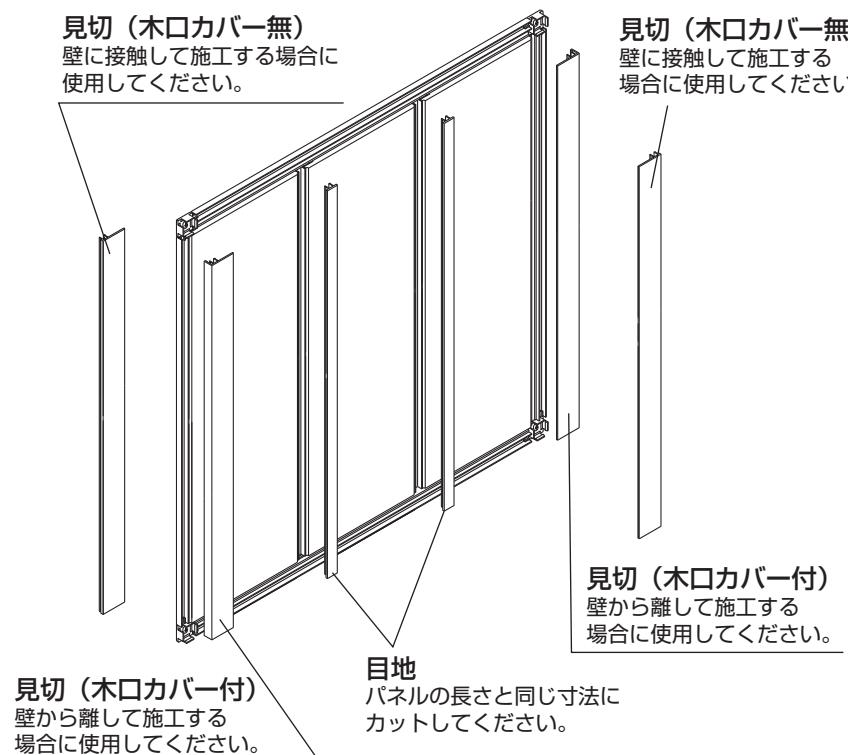


8. 上側のコーナー用ベースを施工します。



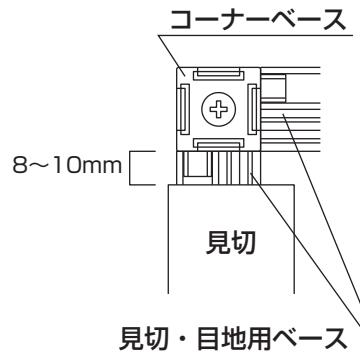
3. 施工方法 (P18のつづき)

9. 左右見切、目地 (パネルの間を目地で納める場合) を設置します。

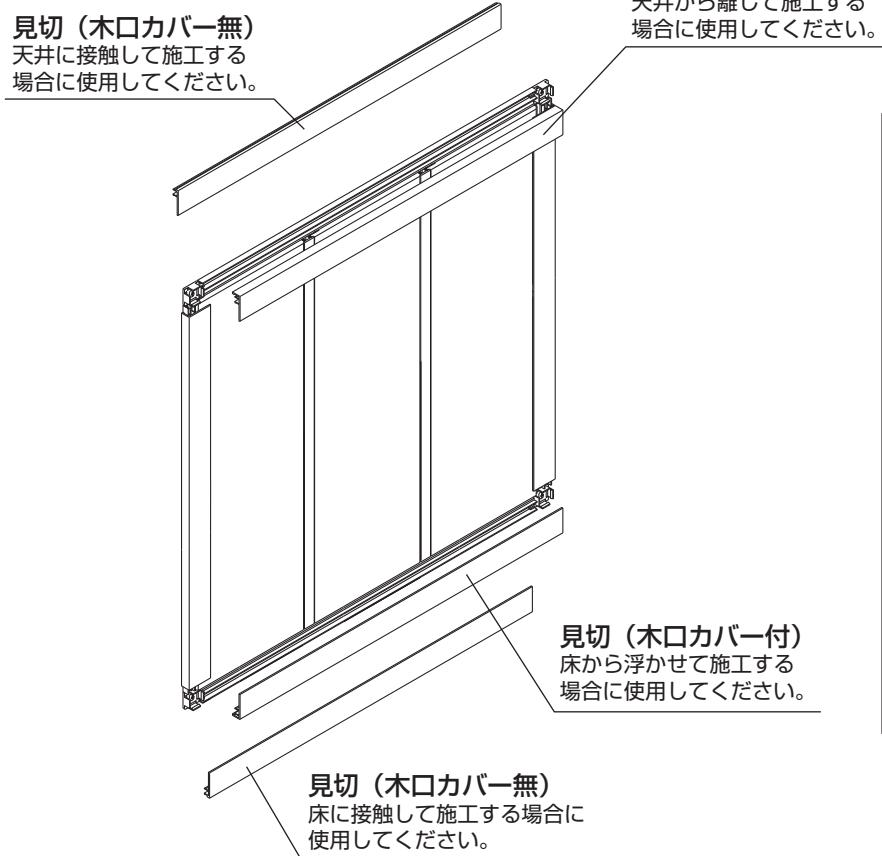


施工のポイント

左右見切は上下ともにコーナーベース
から8~10mm離れるようにカットして
ください。

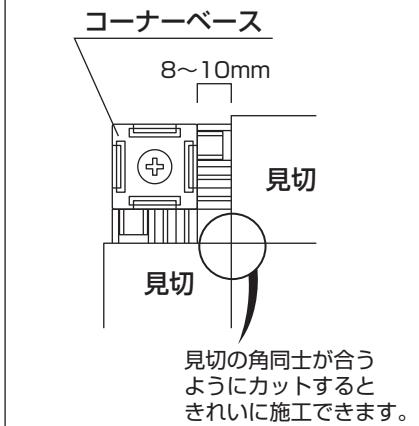


10. 上下の見切を設置します。



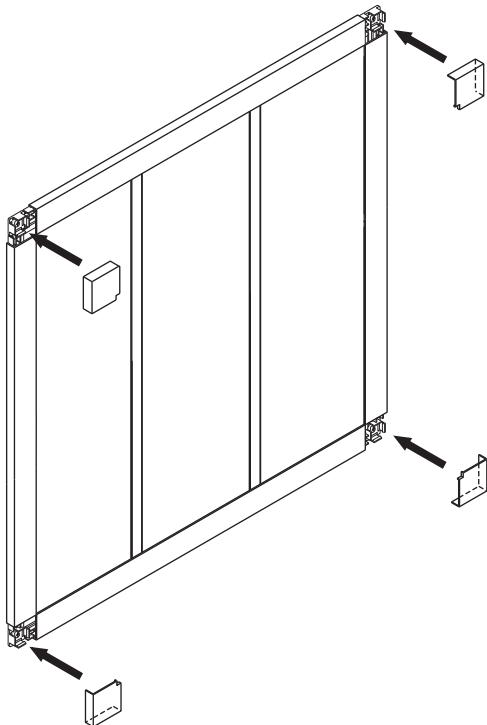
施工のポイント

上下見切は左右ともにコーナーベース
から8~10mm離れるようにカットして
ください。



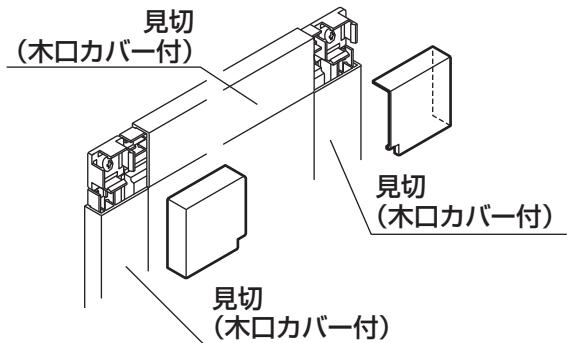
11. コーナーカバーを設置します。

※コーナーカバーは壁パネルの設置位置により使い分けてください。



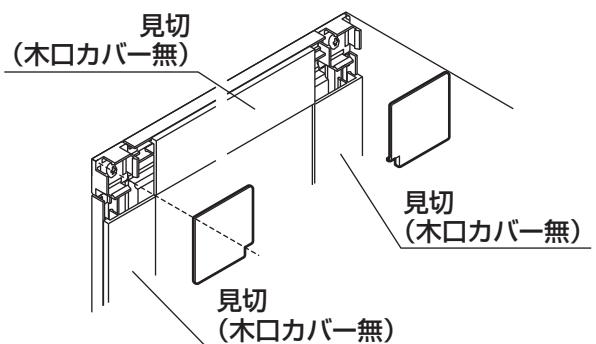
コーナーカバーA

天井（床）からも壁からも離して施工する場合



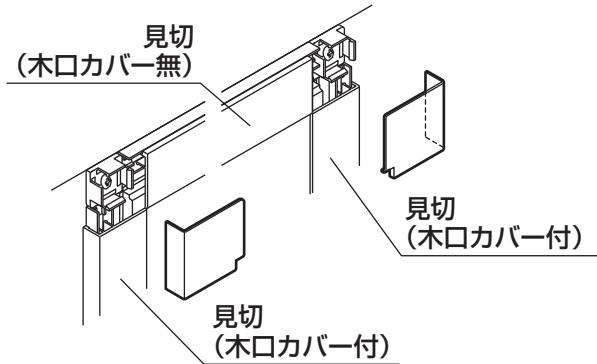
コーナーカバーB

天井（床）にも壁にも接触して施工する場合



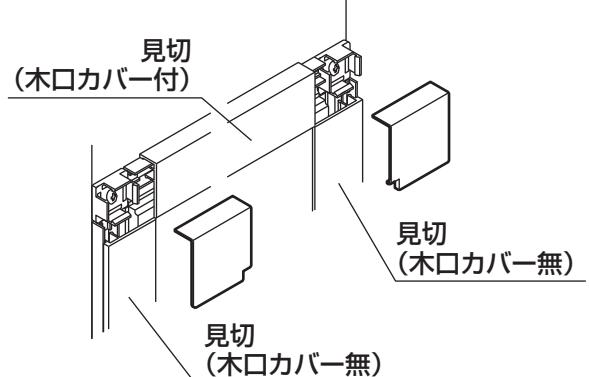
コーナーカバーC

天井（床）に接触し、壁から離して施工する場合



コーナーカバーD

天井（床）から離し、壁に接触して施工する場合



※下側はコーナーカバーを反転させて設置してください。

3. 施工方法 (P20のつづき)

ハンギング部材の組み立て

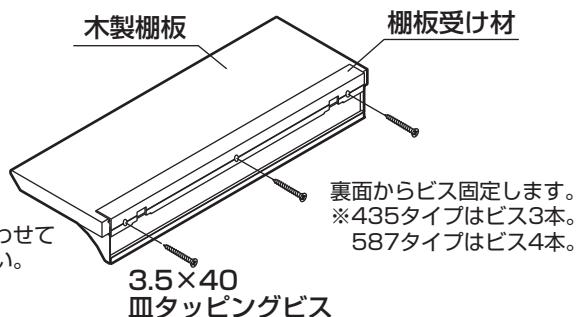
1. 棚を組み立てます。

木製棚の組み立て

同梱のビスで棚板を固定します。
棚板は棚板受け材より20mm長いので、棚板を両側に10mm余らせた
状態で固定してください。

⚠ 注意

棚板には必ずリード穴を空けてください。



棚板は下面に合わせて
固定してください。

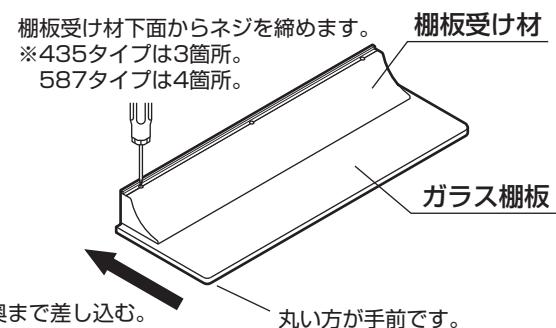
裏面からビス固定します。
※435タイプはビス3本。
587タイプはビス4本。

ガラス棚の組み立て

ガラス棚板を棚板受け材の奥まで差込み、ネジを締めて固定します。
棚板は棚板受け材より20mm長いので、棚板を両側に10mm余らせた
状態で固定してください。

⚠ 警告

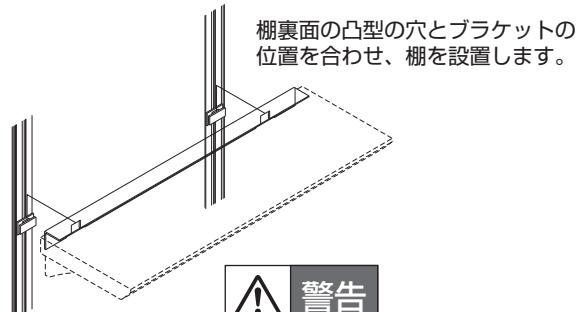
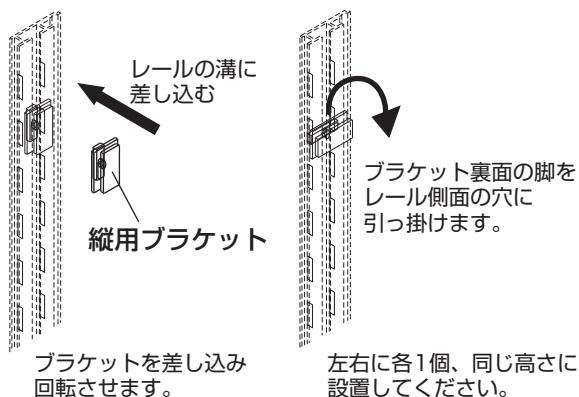
- ガラスはしっかりと棚板受け材の奥まで差し込まれ、ネジも全て締められていることを確認してください。
- 電動ドリルを使わないでください。ガラスが破損する恐れがあります。



奥まで差し込む。
丸い方が手前です。

2. 棚、フックを取り付けます。

棚の取り付け

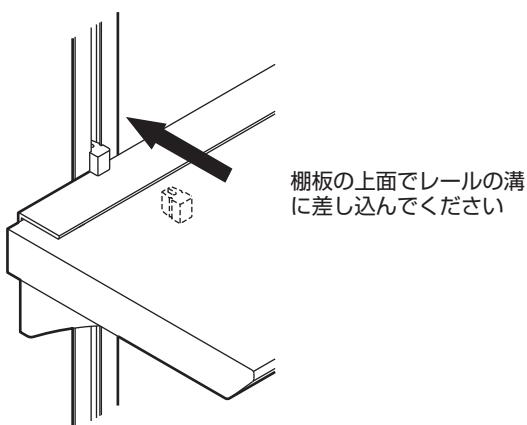


⚠ 警告

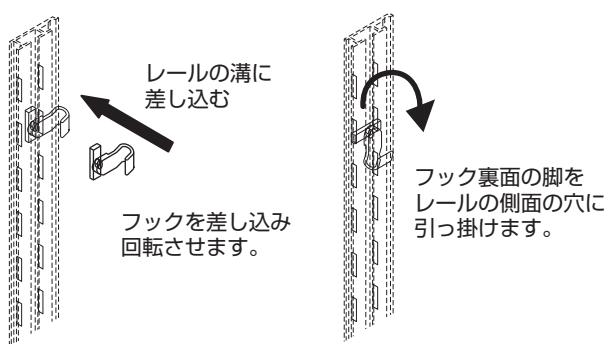
棚はしっかりとブラケットに設置されていることを確認してください。設置が確実でないと棚
が脱落し、ケガや破損の原因となります。

脱落防止部材の取り付け

※左右に取り付けてください。



フックの取り付け



使用上のご注意

木製棚・ガラス棚の取り扱い

🚫 棚板に腰掛けたり、ゆすったり、踏み台として使用しないでください。

⚠️ 落下・破損などを起こし、重傷を負う危険性があります。
特に小さいお子様には、誤った使い方をしないよう、ご注意ください。

⚠️ 棚の下に人が入らないよう注意してください。



⚠️ 下の表に示している重さを超えて物を載せないでください。

部材	木製棚・ガラス棚		フック
	L=435	L=587	
制限荷重 (静荷重)	5kg	10kg	2kg

⚠️ 物を載せる棚です。他の用途に使用しないでください。

⚠️ 物が落下する恐れがあります。不安定な物、危険な物、高価な物など置かないでください。

⚠️ 棚に高温の物を直接置いたり、近づけたりすると、棚板の割れや変色の原因になりますので、
おやめください。

お手入れの方法

⚠️ パネルや棚板、ハンギングレールの清掃は、乾拭きまたは中性洗剤を薄めて硬く絞って拭いてください。

🚫 シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

スタイルアート ハンギングタイプ

■保証期間

製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後の修理については有料となります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キミ音などの不具合。
- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合

- ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障および損害(例えは、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等)
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
- ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

このたびは DAIKEN 製品をお求めいただき誠にありがとうございます。

製品を末永く安全にご愛用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



製品に関するご相談は…

製品全般に関するご相談は

お客様センター

 0120-787-505

受付時間: 平日9:00~17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。)

大建工業株式会社

2025年9月26日から
「DAIKEN株式会社」に改称します。

<https://www.daiken.jp/>